

館報 43



令和2年度（2020年度）
山口県立山口博物館

は　じ　め　に

当館は、明治45年（1912年）に防長教育博物館として発足し、大正6年（1931年）に山口県立教育博物館として県に移管されました。その後、戦後の改編を経て、人文・自然両部門を持つ総合博物館として昭和42年（1967年）に改築され、平成24年（2012年）に開館100周年を迎え、今日に至っています。

県立の博物館としては全国でも最も長い歴史を誇り、「文化の継承と発展のために努める」「総合博物館として活動する」「豊かな心を育み人づくりに資する施設として貢献する」「多彩な博物館活動を行う」の4つを基本方針に、36万点を超える資料を収蔵し、その保管、展示、調査研究を行っています。

さらに、県民の皆様を対象に多彩な講座・教室を開設する「教育普及活動」をはじめ、長期研修教員であるMT（ミュージアム・ティーチャー）と学芸員が連携し、学校・地域の学習活動を支援する「博物館学校地域連携教育支援事業」等を積極的に展開しており、これらは、質・量ともに全国トップクラスの取組となっています。

令和2年度は、年度当初に新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館がありましたが、再開館後は、人数制限等の感染拡大防止対策を徹底しながら、展示については、常設展示において「すごいおもちゃコーナー（理工展示室）」を開設したほか、夏には特別展「生物の進化と恐竜ワールド」を開催し、約1万4千人の皆様にご観覧いただきました。また、秋には県内の児童・生徒が研究成果を発表する「サイエンスやまぐち2020」を開催するとともに、植物、天文、理工分野においてもテーマ展を行ったところです。

また、教育普及活動については、昆虫教室、植物教室、地質めぐり、科学工作講座、歴史教室、天体観望会など延べ20講座を開催するとともに、博物館学校地域連携教育支援事業として、学校に出向いて行う出前授業をはじめ、館内の社会見学、職場体験、館内授業を実施し、延べ329団体、約1万1千人のご利用をいただきました。

なお、コロナ禍で来館できない方や休校などにより家庭で過ごす子どもたちが増えたことを踏まえ、来館しなくても会場の雰囲気を感じながら学習もできる「バーチャルミュージアムinやまはく」などを当館ホームページ上に開設したところです。

今後とも、県民の皆様のニーズを踏まえた展示内容の充実や学校・地域と連携した教育普及活動の展開、さらにこれらの活動の基礎となる調査研究等に積極的に取り組んでまいりますので、皆様のご利用を心からお待ちしています。

令和3年9月

山口県立山口博物館

館長 宮 地 理

目 次

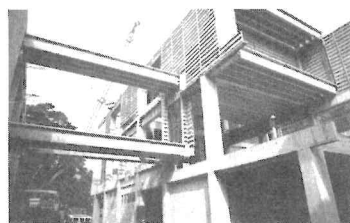
I	沿 革		1
II	管 理 運 営 状 況		4
1	組 織		4
2	敷地・建物の概要		5
III	令和2年度の利用状況		8
IV	令和2年度事業概要		15
1	資料の収集・保管		15
2	展 示 資 料		19
3	調 査 ・ 研 究		44
4	教 育 普 及		47
5	そ の 他		53
V	基本方針と令和3年度の実業概要		55

I 治 革

明治41年 4 月	皇太子殿下が行啓され、行啓日程の中で山口県教育品及び物産展覧会を御覧になられた。
明治41年10月	山口県教育会長が山口町長と大殿小学校旧校舎敷地建設使用契約を締結した。
明治45年 4 月	皇太子行啓記念事業として、山口県教育会が大殿小学校旧校舎を補修して防長教育博物館を設置した。（展示物総計5,451点）
大正 3 年 9 月	巡回教育博物館活動を開始した。（吉敷郡宮野村ほか）
大正 4 年10月	山口県立教育博物館建設費が県会で議決された。
大正 5 年 1 月	山口県教育会は代議員会で、大正 5 年度限りで防長教育博物館を廃止し、図書、標本、機械、器具を山口県立教育博物館へ寄付することを決定した。
大正 6 年 4 月	山口県は大正天皇即位大典記念事業として山口県立教育博物館を設置、同年 8 月19日で旧館を閉じ、9 月23日現在地に新館を開館した。
大正15年 5 月	皇太子殿下が行啓され、行啓日程の中で、御来館された。
昭和 2 年 1 月	大典記念山口県立教育博物館と改称された。
昭和 3 年12月	皇太子殿下の行啓を記念した防長先賢堂が落成した。
昭和 7 年 6 月	特別室が竣工した。
昭和12年 5 月	吉岡訓導銅像（制作者 保田龍門）、阿部校長銅像（制作者 河内山賢祐）の除幕式が行われた。 山口県立教育博物館（大正6年）
	（昭和18年11月供出）
昭和16年 9 月	博物館前庭に赤道儀室（スライディンググループ式）を建築、10cm屈折赤道儀を新設し日食観察を実施した。
昭和17年12月	山口道場門前から、枕流亭（維新の史蹟建造物）を本構内に移築した。
昭和20年 4 月	太平洋戦争の苛烈化のため、4 月21日展示観覧を中止、資料を疎開し博物館は休止した。
昭和21年 4 月	山口県立教育博物館に山口県立科学教育研究所が設置された。
昭和22年 4 月	山口県立科学教育研究所が山口県立科学博物館と改称された。
昭和23年 3 月	第 1 回山口県科学振興展覧会を開催した。
昭和25年 7 月	自然・人文両部門を合わせもつ総合博物館として教育博物館と科学博物館を統合して山口県立山口博物館が再発足した。
昭和27年 5 月	山口県立山口博物館設置条例（昭和27年山口県条例第35号）が公布された。
昭和39年 3 月	山口県博物館条例（昭和39年山口県条例第55号）が公布された。
昭和42年10月	建物の老朽化のため、鉄筋コンクリート建築に改築して10月 1 日開館し現在に至る。 （設計 坂倉準三） 維新100年記念開館特別展「近代国家へのあゆみ」を開催した。（入館者 179,526人）



山口県立教育博物館（大正6年）



新館建設の様子



「近代国家へのあゆみ」開催

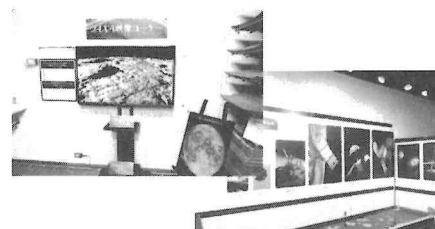
昭和43年 9 月	D60型 1 号蒸気機関車を山口博物館構内に展示（無償貸借）
昭和62年10月	理工展示室NTTコーナーを改装した。
昭和63年 3 月	理工展示室中国電力コーナーを改装した。東側屋外階段を改築（鉄骨化）した。
平成元年 3 月	屋外階段（建物正面）の撤去・新設工事を実施した。

平成2年3月	建物のイメージアップとパークロード周辺の建物との調和を図るため外壁（東側）をタイル張りに改修した。 理工展示資料を充実した（山口線運転シミュレータ、X線分析装置、真空凍結乾燥装置、アナモフォーシスほか）。 アスベスト除去工事（館長室、事務室、学芸員室、特別収蔵庫）、歴史展示室の常設ケース更新を実施した。
平成3年3月	前年度に引き続き理工展示資料を充実した（展示ロボット、教育用ロボット、多関節形ロボット、電気の原理模型ほか）。 生物展示ケースの常設ケースを更新した。
平成4年3月	博物館裏山（春日山）の公園整備にあわせ建物のイメージアップと周辺との調和を図るため、外壁（西側）をタイル貼りにするとともに非常階段（西側）の改築も行った。 生物展示室、地学展示室の常設ケースを更新した。先賢堂の改修を実施した。
平成5年3月	20cm屈折赤道儀修理、地学展示室の常設ケース更新（常設ケース更新事業終了）
平成6年2月	受電設備の老朽、劣化にともなう電気設備の改修
平成7年4月	旧教育研修所第2研修部が所属替により山口博物館の管理となる。
〃 7月	高齢者及び身障者安全対策設備（階段手摺り設置、車椅子設置、車椅子用便所に改修、車椅子階段昇降機設置（展示室））
平成8年4月	別館（旧教育研修所第2研修部）の改修整備
平成10年1月	教育用ロボットの更新（対戦型バスケットボール）
平成11年8月	天体ドームのリニューアル工事
〃 9月	1階入口ドアの改修（自動ドア）
平成12年2月	特別収蔵庫の改修
平成13年3月	2階展示室に監視カメラを設置
平成13年7月	玄関タイルの改修、車椅子用階段昇降機（内階段）の設置
〃 12月	P C B対策のため照明器具の取替、先賢堂屋根の補修
平成15年3月	ホームページ用サーバー等設置（博物館情報発信環境整備事業）
平成15年10月	別館廊下床改修
平成16年3月	エレベーターの全面更新、3階展示室壁面クロス貼替工事
平成16年4月	長期研修教員2名配置（博学連携事業開始）
平成17年6月	燻蒸室改修工事
平成18年3月	ロボットコーナー改修工事（FANUC改修、AIBO設置）、本館屋上全面改修工事、展示室フロアコンセント改修工事
平成18年4月	長期研修教員1名増員（計3名）
〃 4月	本館火災報知設備改修工事、別館屋上雨漏り補修工事
〃 6月	考古歴史常設展示ケース改修工事
平成19年6月	特別展示室（旧講堂）空調設備改修工事
〃 12月	「未来都市模型」改修
平成21年3月	山口線シミュレータ改修
平成22年3月	ターボ冷凍機圧縮機全分解整備
平成22年9月	高効率蛍光灯設置工事（環境政策課）
平成23年1月	3階理工展示室体験型展示資料更新（5点）
〃 3月	別館屋上太陽光パネル設置工事（環境政策課）
平成24年2月	開館100周年記念マスコットキャラクター（なっとくん）選定



「なっとくん」

平成24年 3 月	大規模施設改修と展示資料の更新（住民生活に光をそそぐ交付金） ○施設改修：1階収蔵庫・2階生物資料庫改修工事、別館屋上防水工事、ガス管交換工事、本館トイレ工事、段差解消機設置工事ほか ○展示資料の更新：2階理工ロボットコーナー更新、くらしのなかのサイエンスコーナー新設、地学展示室ティラノサウルス骨格複製レプリカ購入、植物・動物展示室全面更新、天文太陽系運行模型等更新、3階体験学習コーナー11点新設ほか 開館100周年記念式典を挙（3月27日）
平成24年 7 月	「山口博物館100年のあゆみ」刊行
平成25年 4 月	長期研修教員1名増員（計4名）
平成26年 3 月	本館屋上排水口拡張工事、本館外壁爆裂箇所修繕工事、本館屋上タイル修繕工事
平成26年 7 月	アスベスト対策工事のため休館
〃 9 月	給水管布設替え工事
平成27年 3 月	消防設備改修工事、本館屋上階段補修工事
平成27年 6 月	山口大学埋蔵文化財資料館と連携協力協定を締結
平成28年 1 月	ターボ冷凍機抽気装置改修
平成28年 5 月	アスベスト対策工事終了
〃 7 月	再オープン
〃 7 月	「松下村塾コーナー」を新設
平成29年 4 月	長期研修教員1名減（計3名）
〃 11 月	「JAXAコーナー」を新設
平成30年 4 月	明治150年を記念し、吉田松陰関係資料等の特集展示
平成30年12月	「ミニ維新体験館」を新設
平成31年 3 月	ターボ冷凍機分解整備
令和 2 年 3 月	別館屋上外壁改修工事（令和2年5月終了）
令和 2 年 3 月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（3月3日から3月26日まで）
令和 2 年 5 月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（4月14日から5月24日まで）
令和 2 年 5 月	「バーチャル博物館（ミュージアム）inやまはく」開設（HP上）
令和 2 年 7 月	「すごいおもちゃコーナー」新設（理工展示室）
令和 3 年 2 月	本館・別館トイレ洗面蛇口自動水栓改修
令和 3 年 2 月	「ミュージックミュージアムinバーチャルやまはく」開設（文化庁事業：HP上）



JAXAコーナー



ミニ維新体験館



バーチャル博物館inやまはく



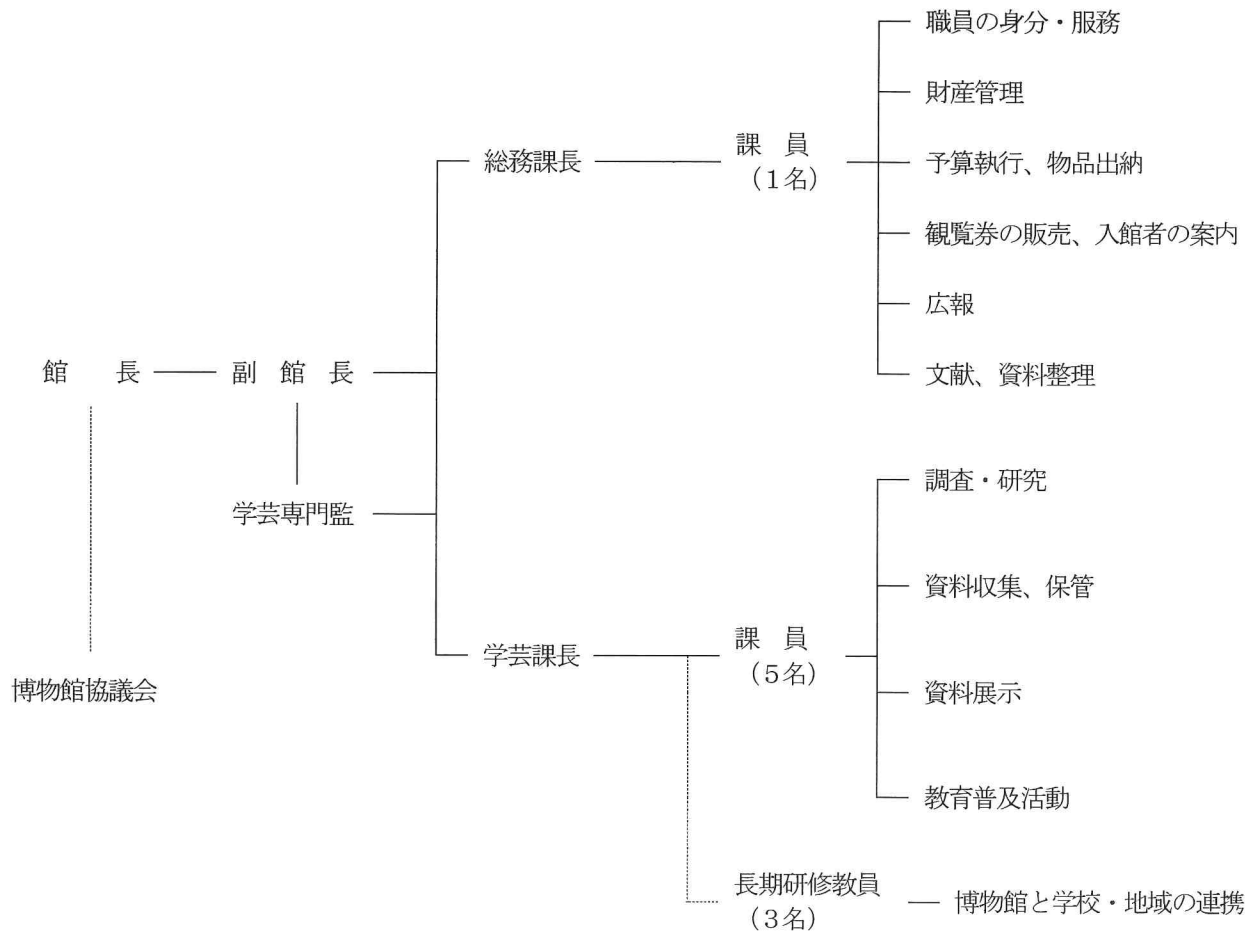
すごいおもちゃコーナー



ミュージックミュージアムinバーチャルやまはく

Ⅱ 管理運営概要

1 組 織



◎ 職員名簿（令和3年3月31日現在）

職 名	氏 名	事 務 分 掌
館 長	宮 地 理	館運営総括
副 館 長	玉 野 智 己	館運営総括補佐
学芸専門監（学芸員）	山 田 稔	学芸業務の総括、歴史
総 務 課 長	梶 井 生加恵	総務業務の総括、公印、人事、予算、歳入、広報
主 任	川 西 隆	歳出、業務委託、給与、旅費
学芸課長（学芸員）	杉 江 喜 寿	植物
主 任（学 芸 員）	荒 卷 直 大	考古
主 任（学 芸 員）	漁 剛 志	理工
主 任（学 芸 員）	岩 村 和 政	天文
主 任（学 芸 員）	赤 崎 英 里	地学
主 任（学 芸 員）	田 中 浩	動物
教 頭（長 研 教 員）	小 林 信 善	博学地域連携
教 諭（長 研 教 員）	山 下 泰 弘	博学地域連携
教 諭（長 研 教 員）	梅 木 勇 治	博学地域連携

2 敷地・建物の概要

庁舎敷地・管理分掌敷地 19,905.04 m²

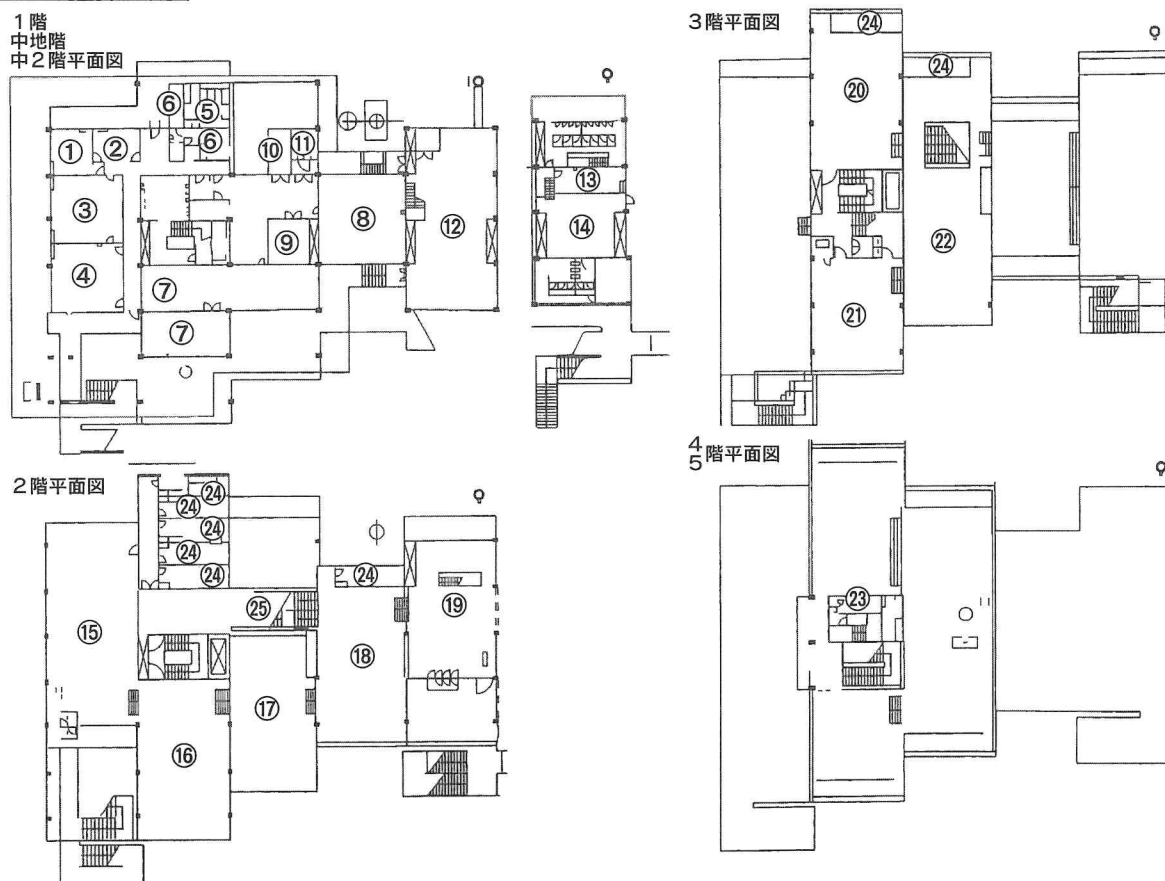
(1) 本館

建築面積 1,771.20 m²
 建築延面積 3,597.21 m²
 軒 高 19.050 m
 最高部高さ 22.250 m
 展示室総面積 1,648.00 m²

構造概要

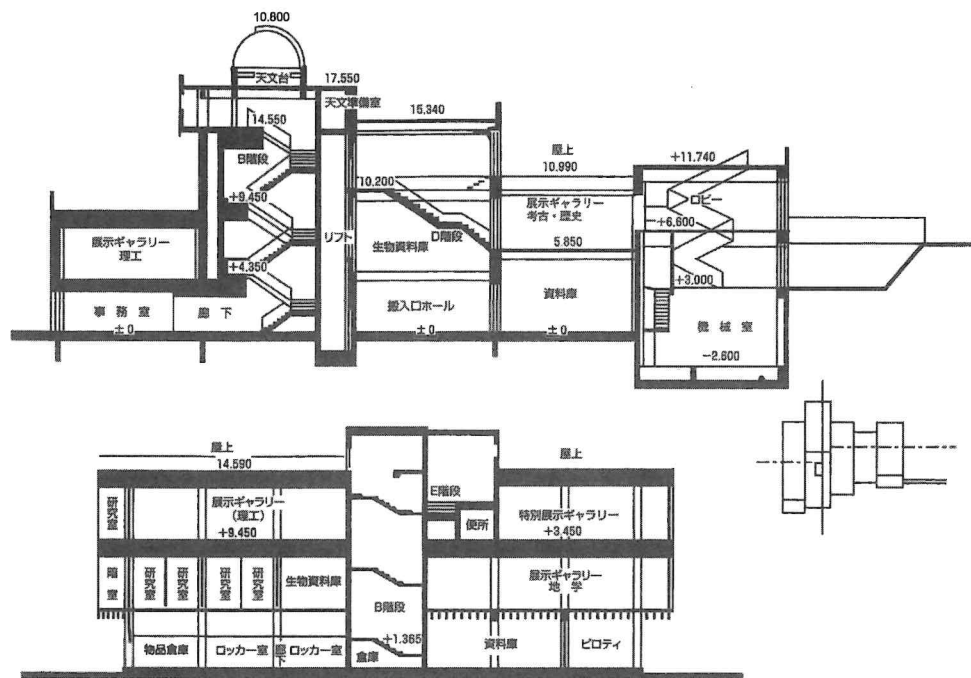
鉄筋コンクリート造り 地上5階
 地下1階（一部）
 竣工 昭和42年3月
 開館 昭和42年10月
 総工事費 約2億6,100万円

建物平面図



1. 館長室	25.92m ²	11. 燻蒸室	17.01m ²	21. 特別展示室	142.56m ²
2. 応接室	22.50m ²	12. 機械室	222.62m ²	22. 理工展示室	294.40m ²
3. 学芸課	69.26m ²	13. 技師室	27.72m ²	23. 観測室	79.92m ²
4. 総務課	69.26m ²	14. 電気室	66.42m ²	24. 研究室	152.10m ²
5. 会議室	29.16m ²	15. 理工展示室	259.20m ²	25. 生物資料庫	116.64m ²
6. 物品庫	25.16m ²	16. 地学 "	200.88m ²	その他	686.13m ²
7. 収蔵庫	174.96m ²	17. 植物・動物 "	194.40m ²		
8. 資料庫	116.64m ²	18. 考古・歴史 "	200.88m ²		
9. 地学工作室	32.40m ²	19. 天文 "	180.72m ²		
10. 梱包材料庫	15.39m ²	20. 理工 "	174.96m ²	合計	3,597.21m ²

建物断面図



山口博物館正面



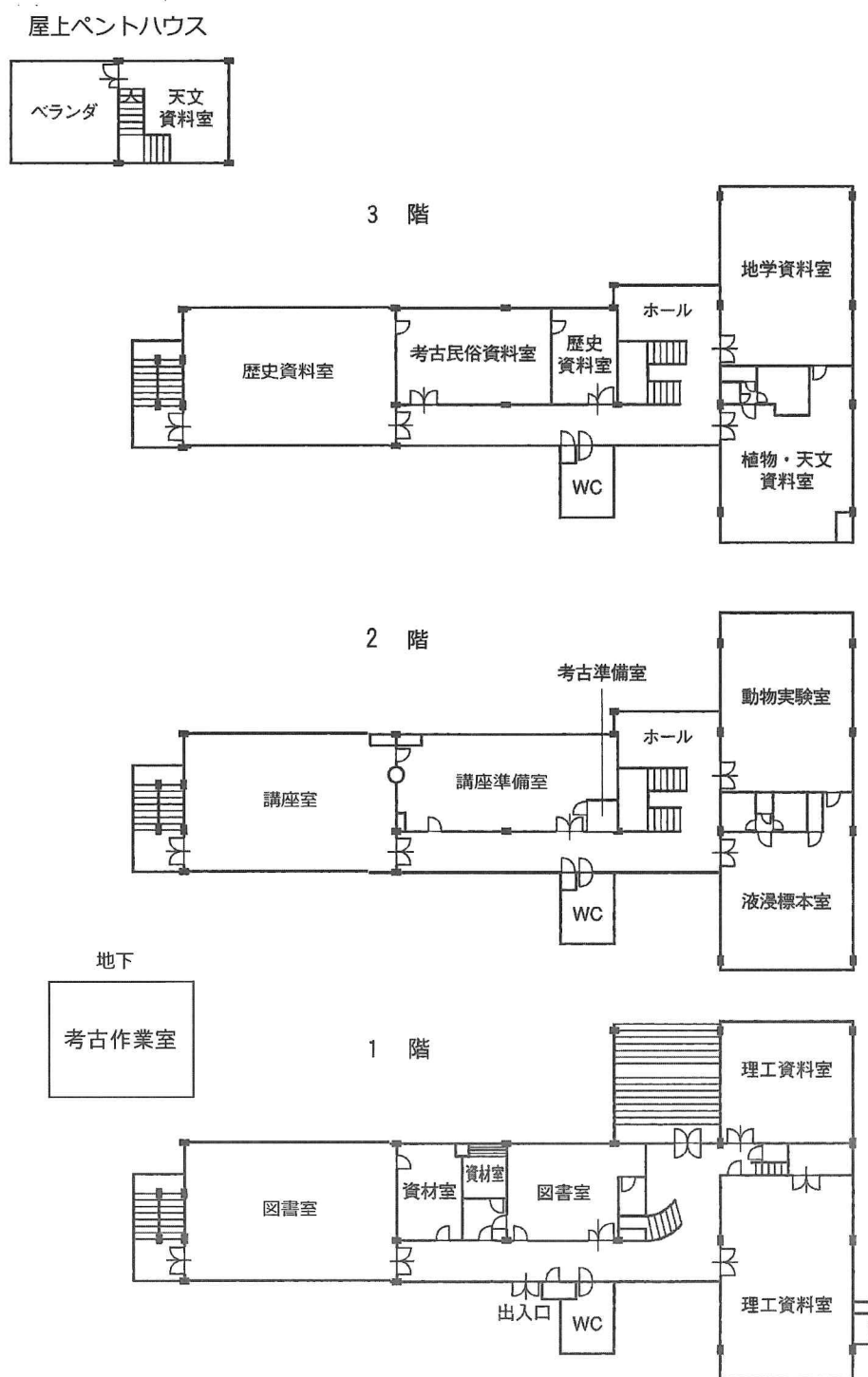
山口博物館全景（平成23年10月）

(2) 別館（旧山口県教育研修所第二研修部庁舎、昭和36年7月20日竣工）

建築面積 480.23㎡

建築延面積 1,566.3㎡

建物平面図



(3) 赤レンガ（旧維新記念室、大正6年竣工）

建築面積 157.02㎡

建築延面積 157.02㎡

(4) 防長先賢堂（昭和3年竣工）

建築面積 178.51㎡

建築延面積 178.51㎡

Ⅲ 令和２年度利用状況

※ 令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、４月１４日～５月２４日まで臨時休館した。

また、特別展では主にオンライン予約制とし入館者数を大幅に制限、社会見学等でも各展示室あたりの入館者数を２０人程度に制限、などさまざまな対策を実施。（新型コロナウイルス感染拡大防止対策の詳細については、P４２に記載）

入館者			計	教育普及	博学地域連携		レファレンス	合計
常設展	特別展	サイエンス			館内利用	館外利用		
人	人	人	人	人	人	人	人	人
7,705	13,968	1,827	23,500	422	3,350	7,603	436	(31,961) 35,311

※（ ）は社会見学利用を除いた数

（１）入館者の状況（個人・団体別）

区分	入館者								入館者合計	開館日数	入館者数 一日平均
	個人				団体						
	大人	大学生 高校生	小中学生	その他	大人	大学生 高校生	小中学生	その他			
常設展	2,712	206	946	1,481	26	0	2,077	202	7,705	265	29
		55				0					
特別展	5,900	322	3,343	4,330	0	0	0	0	13,968	36	388
		73				0					
サイエンス	438	8	215	522	34	0	523	69	1,827	15	121
		2				16					

【特別展】

「生物の進化と恐竜ワールド」の概要

１ 期 間

令和２年８月７日（金）から９月２２日（火）３６日間（月・火休館）

２ 入館者数

13,968人 ※昨年 18,412人（24.1%減）、一昨年 23,420人（40.4%減）

３ 入館料収入

6,099千円 ※昨年 4,334千円（40.7%増）、一昨年 9,474千円（35.6%減）

４ 有料入館者率

44.4% ※昨年 24.3%、一昨年 41.8%

５ アンケート結果

「良かった」「とても良かった」が 90%（昨年 95%、一昨年 95%）

６ 状況

過去２年の特別展と比較して、原則オンライン予約による入場制限など、新型コロナウイルス感染症対策を実施したため入館者数は減少したが、オンライン手続きによる引率者（有料入館者）の増加もあり、入館料収入は昨年度より、有料入館者率は過去２年間より増加した。アンケート満足度はこれまで同様に高く好評であった

【サイエンスやまぐち 2020】

① 第 74 回山口県科学作品展の概要

1 期 間

令和 2 年 10 月 30 日（金）～11 月 15 日（日）（15 日間開催）

2 内 容

県内の各学校に出品された作品は、約 13,000 点（自然の部 約 9,000 点、創造の部約 4,000 点）であり、県内各学校及び各地区での審査を経て、県展に 175 点（自然の 142 点、創造の部 33 点）が出品された。入賞者の内訳は以下のとおり。

	出品 点数	優秀賞	奨励賞	入選	佳作	入賞 点数計
自然の部(小学校 1・2 年)	25	1	1	2	4	8
自然の部(小学校 3・4 年)	28	1	1	3	6	11
自然の部(小学校 5・6 年)	37	1	1	4	8	14
自然の部(中学・高等学校)	52	1	1	9	16	27
自然の部【総数】	142	4	4	18	34	60
創造の部【総数】	33	2	3	4	6	15

② 第 74 回山口県科学研究発表会の概要

1 開催日

令和 2 年 11 月 10 日（火）

2 内 容

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、DVD による発表の審査のみ実施。

発表数は 19 件（小学校の部 13 件、中・高の部 6 件）で、入賞者の内訳は以下のとおり。

校種部別	発表数	優秀賞	奨励賞	入選
小学校の部	13	1	4	8
中・高の部	6	0	2	4

（2）教育普及講座の実施状況

月	分野	講座名	担当	定員	参加者数
5	考古	埴輪を作ろう！	荒巻	8 組 20 名	※中止
5	歴史	歴史講座「古地図を片手に街を歩こう—肥中街道・山口編 1—」	山田	20 名	※中止
5	動物	初夏の昆虫観察	田中	20 名	※中止
5	地学	地質めぐり（第 1 回）	赤崎	20 名	※中止
6	理工	ロボットプログラミング教室（初級）	漁	各 4 組	22
6	天文	日食を見る会	岩村	10 組 40 名	25
6	植物	植物教室① 「植物（押し葉・さく葉）標本をつくろう！」	杉江	8 組 16 名	14
7	動物	夏の昆虫観察と標本作り	田中	各 8 組 16 名	30

8	理工	科学工作講座	漁	各日 8 組	計 36
8	考古	勾玉を作ろう！	荒巻	8 組 24 名	17
8	天文	木星と土星を見る会	岩村	10 組 40 名	雨天中止
8	植物	植物教室②「葉脈標本でしおりをつくろう！」	杉江	8 組 16 名	14
9	歴史	実技講座「掛け軸の取り扱い方」	山田	20 名	18
9	天文	月と土星を見る会	岩村	10 組 40 名	36
9	動物	秋の昆虫観察	田中	10 組 20 名	26
10	植物	植物教室③ 「秋の植物のふしぎを調べて飾りを作ろう！」	杉江	8 組 20 名	10
10	地学	地質めぐり（第 2 回）	赤崎	10 組 20 名	15
10	天文	火星を見る会（2 回）	岩村	各日 10 組 40 名	計 42
10	考古	古代ウォーク	荒巻	8 組 20 名	12
11	考古	古代の機織りでコースターを作ろう！	荒巻	8 組 20 名	12
12	歴史	歴史探訪「古地図を片手に街を歩こう—肥中街道・山口編 2—」	山田	10 組 20 名	11
12	理工	雪の結晶をつくろう！	漁	8 組 20 名	20
2	天文	オリオン大星雲を見る会	岩村	10 組 40 名	26
2	理工	ロボットプログラミング教室（中級）	漁	各 4 組 15 名	計 24
3	地学	スライスした岩石を観察しよう	赤崎	8 組 15 名	12
3	動物	里山の動物観察会	田中	10 組 20 名	雨天中止
合 計					422

※令和 2 年 5 月の 4 講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 博物館学校地域連携教育支援事業の実施状況

①館内利用の実施状況

項目	区分	学校					地域	合計
		小学校	中学校	高校・大学	教職員	小計		
社会見学	利用者数	2,532	361	18	0	2,911	127	3,038
	利用団体数	49	7	3	0	59	8	67
館内授業	利用者数	120	65	0	0	185	56	241
	利用団体数	2	3	0	0	5	8	13
職場体験	利用者数	0	7	0	0	7	0	7
	利用団体数	0	4	0	0	4	0	4
地域利用	利用者数	6	8	2	0	16	14	30
	利用団体数	0	0	0	0	0	2	2
教員研修	利用者数	0	0	0	34	34	0	34
	利用団体数	0	0	0	6	6	0	6
合計	利用者数	2,658	441	20	34	3,153	197	3,350
	利用団体数	51	14	3	6	74	18	92

②館外利用の実施状況

項目		区分	学校					地域	合計
			小学校	中学校	高校・大学	教職員	小計		
出前授業	子ども	利用者数	2,885	73	25	0	2,983	358	3,341
		利用団体数	179	7	3	0	189	14	203
	教職員	利用者数	0	0	0	0	0	0	0
		利用団体数	0	0	0	0	0	0	0
移動展示		利用者数	－	－	－	－	－	－	－
		利用団体数	－	－	－	－	－	－	－
教材貸出		利用者数	523	3,739	0	0	4,262	0	4,262
		利用団体数	4	30	0	0	34	0	34
合計		利用者数	3,408	3,812	25	0	7,245	358	7,603
		利用団体数	183	37	3	0	223	14	237

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「移動展示」及び一部の授業は中止

(4) レファレンスその他の実施状況

	天文	地学	植物	動物	考古	歴史	理工	合計
レファレンス	48	21	56	171	35	76	29	436
資料貸出	0	0	0	0	2	1	0	3

(5) やまはくスタンプラリー2020

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止



教育普及講座（昆虫標本作成）



社会見学（地学展示室）

○ 利用状況の年次推移（平成 27 年度以降）

（１）総利用者数

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R 2
入館者数	— 人	37,860 人	54,628 人	41,567 人	38,106 人	23,500 人
常設展	休館	8,358 人	14,880 人	16,212 人	17,166 人	7,705 人
特別展	休館	27,804 人	37,910 人	23,420 人	18,412 人	13,968 人
サイエンス	休館	1,698 人	1,838 人	1,935 人	2,528 人	1,827 人
教育普及活動	1,389 人	1,513 人	1,478 人	2,091 人	1,647 人	422 人
レファレンス	570 人	493 人	569 人	516 人	450 人	436 人
出前授業等	27,425 人	24,260 人	30,468 人	21,106 人	23,302 人	10,953 人
計	29,384 人	64,126 人	87,143 人	65,280 人	63,505 人	35,311 人

※令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3 月 3 日～3 月 26 日まで臨時休館

（２）特別展及びサイエンスやまぐち入館者数（平成 27 年度は休館）

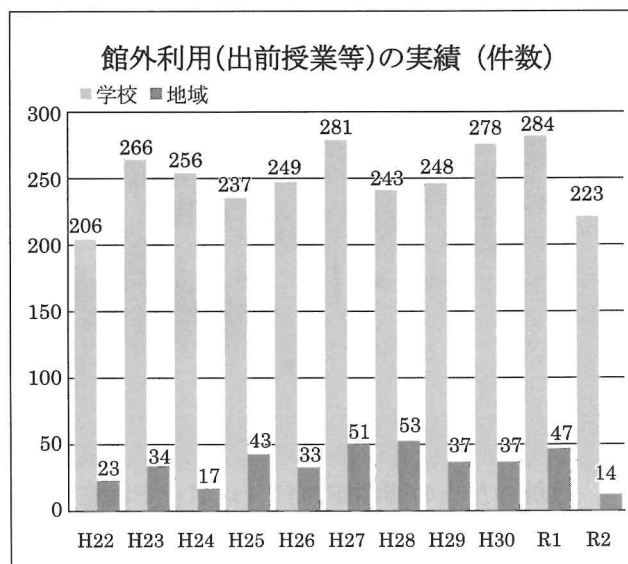
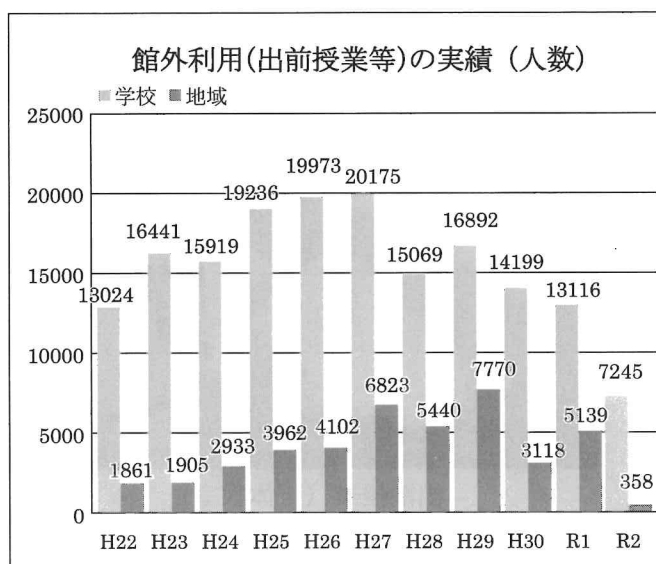
年度	特別展	入館者数（期間）	サイエンスやまぐち	入館者数（期間）
H28	昆虫のふしぎな世界	27,804 人(40 日間)	サイエンスやまぐち '16	1,698 人(15 日間)
H29	アリスと大冒険 3Dふしぎ博物館	37,910 人(40 日間)	サイエンスやまぐち '17	1,838 人(15 日間)
H30	宇宙兄弟展 2018×やまぐちと宇宙	23,420 人(41 日間)	サイエンスやまぐち '18	1,935 人(15 日間)
R1	どきどき！ドローン・ワールド	18,412 人(28 日間)	サイエンスやまぐち '19	2,528 人(15 日間)
R2	生物の進化と恐竜ワールド	13,968 人(36 日間)	サイエンスやまぐち '20	1,827 人(15 日間)
平均		24,302 人		1,965 人

(3) 博物館学校地域連携教育支援事業における利用者数

年 度			H27	H28	H29	H30	R1	R2
利用者総数			27,425	24,260	30,468	21,106	23,302	10,953
利用団体総数			356	386	446	456	530	329
学校	館内利用	利用者数	427	3,751	4,991	3,602	3,814	3,153
		利用団体数	24	90	140	137	151	74
	館外利用	利用者数	20,175	15,069	16,892	14,199	13,116	7,245
		利用団体数	281	243	248	278	284	223
地域	館内利用	利用者数	0	0	815	187	1,233	197
		利用団体数	0	0	21	4	48	18
	館外利用	利用者数	6,823	5,440	7,770	3,118	5,139	358
		利用団体数	51	53	37	37	47	14

※館内利用…社会見学、館内授業、職場体験、教員研修

※館外利用…出前授業、移動展示、教材貸出



(4) 教育普及行事(観察会・講座等)への参加者数

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	平均
参加者数	1,389 人	1,513 人	1,478 人	2,091 人	1,647 人	422 人	1,423 人

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため4講座中止

(5) 資料・写真の貸出等(展覧会・出版等への利用)

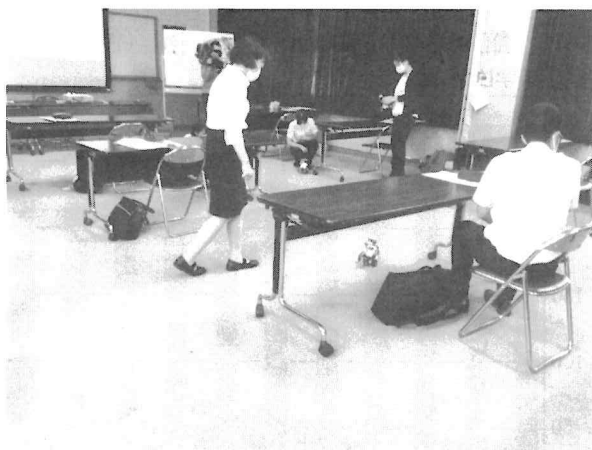
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	平均
件数	180 件	185 件	218 件	245 件	156 件	130 件	186 件

(6) レファレンス（県民からの専門的な問い合わせ）

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	平均
件数	570 件	493 件	569 件	516 件	450 件	436 件	506 件

(7) ホームページアクセス件数（アクセス件数の記録は平成 29 年度から）

年度	H29	H30	R1	R2	平均
件数	124,571 件	115,225 件	107,547 件	134,568 件	120,478 件



教員のための博物館の日（ロボット教室）



出前授業（天体教室）

Ⅳ 令和2年度事業概要

1 資料の収集・保管

(1) 収蔵資料数(令和3年3月31日現在)

部門	天文	地学	植物	動物	理工	考古	歴史	その他	合計
資料数	281	4,916	214,327	129,564	1,072	4,817	4,722	4,841	364,538
前年度 増 減	0	0	168	586	0	0	0	0	754

(2) 新着資料(令和2年度)

部門	資 料 名	数量	寄贈者・購入先
植物	腊葉標本	114 点	寄贈 (秋丸 浩毅氏)
		28 点	寄贈 (眞崎 久氏)
		19 点	寄贈 (南 敦氏)
		5 点	寄贈 (永井 要明氏)
		1 点	寄贈 (山根 文人氏)
		1 点	寄贈 (林 睦子氏)



特別収蔵庫 ①



特別収蔵庫 ②



動植物収蔵庫(生物資料庫) ①



動植物収蔵庫(生物資料庫:植物) ②

(3) 収蔵資料数の年次推移（平成23年（2011年）度より）

	平成 23年 (2011)	平成 24年 (2012)	平成 25年 (2013)	平成 26年 (2014)	平成 27年 (2015)	平成 28年 (2016)	平成 29年 (2017)	平成 30年 (2018)	令和 元年 (2019)	令和 2年 (2020)
天文	4 (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)
地学	26 (4,850)	3 (4,853)	9 (4,862)	3 (4,865)	- (4,865)	5 (4,870)	43 (4,913)	2 (4,915)	1 (4,916)	— (4,916)
植物	3,236 (203,819)	2,254 (206,073)	3,417 (209,407)	2,657 (212,147)	1,150 (213,297)	378 (213,675)	116 (213,791)	269 (214,060)	97 (214,157)	168 (214,325)
動物	7,776 (110,988)	197 (111,185)	213 (111,398)	2,380 (113,778)	3,652 (117,430)	6,594 (124,024)	2,658 (126,682)	1,538 (128,220)	758 (128,978)	586 (129,564)
理工	50 (900)	144 (1,044)	21 (1,065)	1 (1,066)	4 (1,070)	1 (1,071)	— (1,071)	— (1,071)	1 (1,072)	— (1,072)
小計	11,092 (320,838)	2,598 (323,436)	3,660 (327,096)	5,041 (332,137)	4,806 (336,943)	6,978 (343,921)	2,817 (346,738)	1,809 (348,547)	857 (349,404)	754 (350,158)
考古	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)	— (4,817)
歴史	— (3,599)	90 (3,689)	859 (4,548)	81 (4,629)	27 (4,656)	— (4,656)	1 (4,657)	65 (4,722)	— (4,722)	— (4,722)
美術 工芸	1 (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)	— (1,699)
民俗	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)	— (3,142)
小計	— (13,257)	90 (13,257)	859 (14,206)	81 (14,314)	27 (14,314)	— (14,314)	1 (14,315)	65 (14,380)	— (14,380)	— (14,380)
合計	11,092 (334,095)	2,688 (336,783)	4,519 (341,302)	5,122 (346,424)	4,833 (351,257)	6,978 (358,235)	2,818 (361,053)	1,874 (362,927)	857 (363,784)	754 (364,538)

(4) 館蔵指定文化財一覧（寄託品を含む）

No.	指定 区分	種別	資 料 名	点数	指 定 年 月 日	所蔵者
1	国	絵画	絹本著色毛利元就像	1幅	昭和44年6月20日	豊栄神社
2	国	絵画	絹本著色仁王経曼荼羅図	1幅	昭和53年6月15日	神上寺
3	国	工芸品	太刀 銘口友 伝助友	1口	大正元年9月3日	野田神社
4	国	歴史 資料	防長土図 附長持並櫃	109個	平成5年1月20日	山口県
5	国	歴史 資料	正徳元年朝鮮通信使進物並進物目録 附長持	106点	平成5年6月10日	山口県
6	県	彫刻	能面	10面	昭和41年6月10日	正八幡宮
7	県	絵画	絹本着色大庵須益和尚像	1幅	昭和45年4月1日	瑠璃光寺
8	県	絵画	絹本着色全岩東純和尚像	1幅	昭和45年4月1日	瑠璃光寺
9	県	絵画	絹本着色桃岳瑞見和尚像	1幅	昭和45年4月1日	瑠璃光寺
10	県	絵画	絹本着色釈迦十六善神像 付納箱	1幅	昭和60年10月29日	極楽寺
11	県	絵画	紙本着色尼子経久像	1幅	昭和49年11月8日	山口県
12	県	絵画	絹本着色尼子晴久像	1幅	昭和49年11月8日	山口県
13	県	工芸品	鰐口	1口	昭和55年4月11日	名田勝子
14	県	考古 資料	茶臼山古墳出土品 画文帯神獸鏡	1面	平成7年1月13日	山口県
15	県	書跡	手鑑「多々良の麻佐古」	1帖	令和元年12月6日	山口県
16	県	考古 資料	御山神社経塚出土品	20点	昭和49年11月8日	御山神社
17	県	歴史 資料	紙本着色毛利敬親山口新御屋形入居奉祝図	1面	平成29年5月9日	野田神社
18	県	考古 資料	赤妻古墳出土の舟形石棺	1基	平成5年5月14日	山口県
19	山口市	彫刻	木造獅子頭 付納箱	1頭	平成8年2月15日	朝倉八幡宮
20	岩国市	古文書	出師の檄及び長州征伐の記録	1枚	昭和50年10月8日	讃井知明

(5) 資料の貸出・資料の特別利用の状況(令和2年度)

・資料の貸出

No.	資料名	点数	貸 出 先	期間 (会期)
1	山口茶臼山古墳出土 須恵器、管玉、玉類他	10	山口大学埋蔵文化財資料館	10/5～R3. 1/29
2	重要文化財 絹本著色毛利元就像 (寄託資料)	1	東京国立博物館	10/6～11/29 のうち4週間
3	御山神社経塚出土品 銅経塚、銅鏡他	10	下関市立考古博物館	R3. 1/30～3/21

※令和元年度貸出実績は、5 件

・資料の特別利用 (資料画像データの出版等への利用)

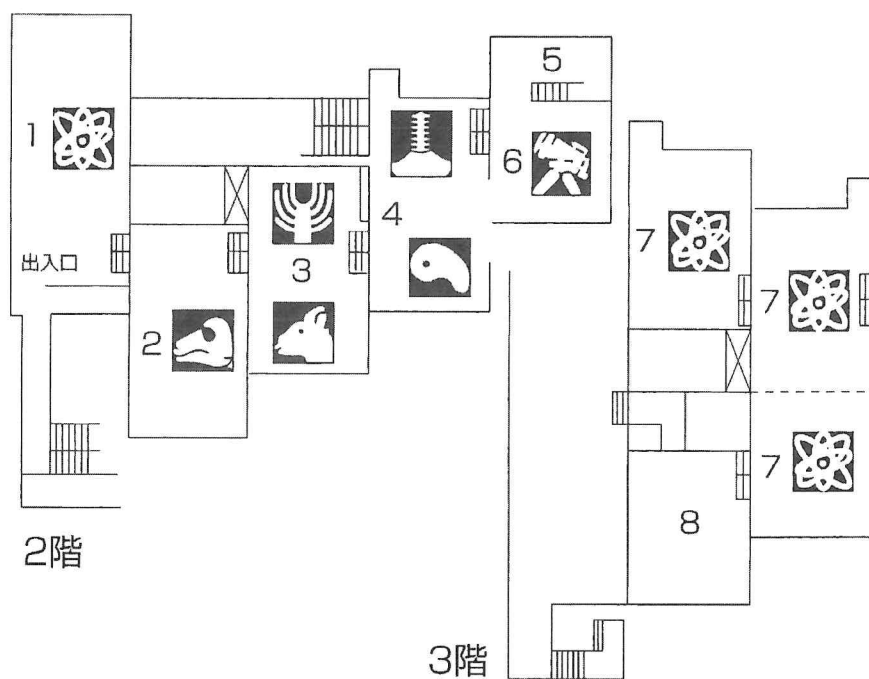
部門	天文	地学	植物	動物	理工	考古	歴史	その他	合計
件数	2	7	1	0	1	3	116	0	130
前年度増減	2	7	1	0	1	△2	△34	△1	△26

※令和元年度特別利用実績は、156 件

2 資料展示

(1) 展示室案内

1. 2階理工展示室
2. 地学展示室
3. 植物・動物展示室
4. 考古・歴史展示室
5. ロビー
(学習コーナー)
6. 天文展示室
7. 3階理工展示室
8. 特別展示室



展示室風景

(2) 常設展示

・令和2年度に変更・追加した資料

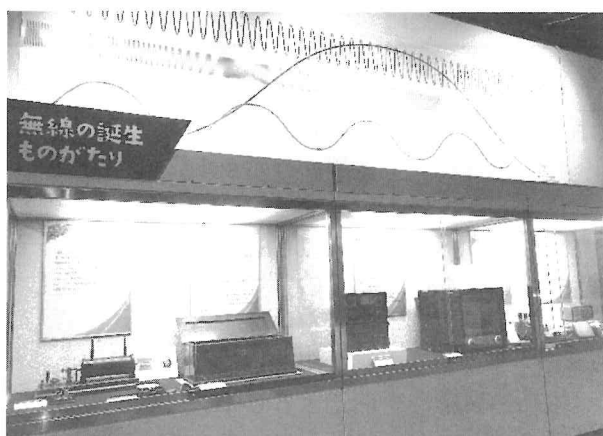
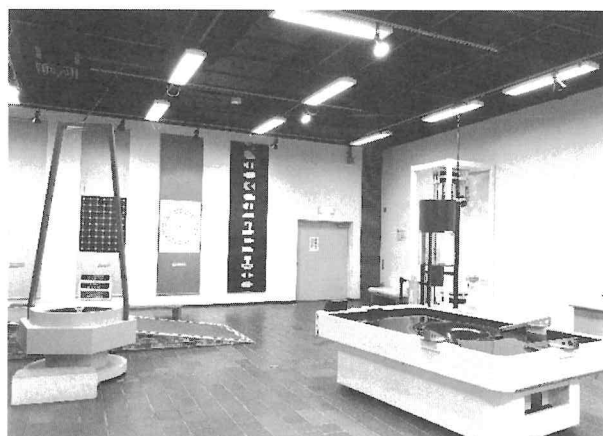
分野 (展示場所)	資料名	概要	時期
理工	「すごいおもちゃコーナー」 (2階)	県内企業の卓越したものづくり技術で製作した子どもたちが大好きな玩具等を展示。 バランストンボ（㈱サン精機（萩市））、まわり続けるコマ（㈱増田工作所（下松市））、3D星座（三笠産業㈱（山口市））、ボールコースター（㈱山下工業所（下松市））の玩具4点及び各社の技術力を紹介する展示約50点	7月
地学	地球史年表（生物の進化編）	地球史46億年のうち、主に顕生代について生物の出現と絶滅、大陸移動を記した年表	9月
	やまぐちの大地の成り立ちアニメ	やまぐちの大地の成り立ちについて解説した4分30秒の動画	9月
	おたのしみ鉱物コーナー	水晶グループ（水晶、紫水晶、煙水晶）	1月
植物	なっとくんの「緑の小話」	身近な植物のふしぎを4コマ漫画で紹介	通年
	テーマ展（自然の美）関連展示	テーマ展（自然の美）に関する本など	5月
	植物クイズなどのパネル	身近な植物や特別展関連の植物（実物）を紹介	7月
	植物ニュース	山口県の植物の記事などを紹介	通年
動物	昆虫標本9箱	昆虫解説標本を新展示	7月
	サポちゃん通信	動物サポーターの活動報告	年2回
考古	杏葉	山口市大内御堀馬塚古墳出土	4月
歴史	明治維新関係資料展示 ① 毛利敬親関係資料 ② 周布政之助・木戸孝允関係資料 ③ 吉田松陰関係資料 防長の絵図	特集展示「明治維新と長州藩」として、関係資料を随時展示替え。 萩城下町絵図、行程記、芸州吉田郡山絵図ほか	通年
天文	なっとくんの天文ニュース	年4回、天文に関わるニュースの更新	通年
	JAXAコーナー	映像の更新・追加	3月

■ 2階理工展示室



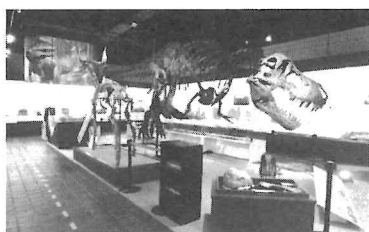
主題	内容	展示資料
ロボットコーナー	車の組み立てや薬剤の仕分けなど行う産業用のロボットの動きを、5つの楽しいパフォーマンスで紹介する。また、かわいらしい動きをするコミュニケーションロボットのプログラミングを通して、ロボット制御を体験する。	垂直多関節形ロボット、スタンプロボット、コミュニケーションロボット 6点
ミニ維新体験館	明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」の中核イベントとして開催した「山口ゆめ花博」会場で好評だった「維新体験館」のVR（バーチャルリアリティ）映像などの主なコンテンツを「ミニ維新体験館」として設置した。	幕末維新回廊プロモーションビデオ、松陰先生からのメッセージ、疾風怒濤の歴史ドラマ、VRで参加する幕末・維新の名場面 5点。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、操作体験は不可とした。
すごいおもちゃコーナー	県内企業の卓越したものづくり技術で製作した子どもたちが大好きな玩具等を展示。	「バランストンボ」、「まわり続けるコマ」、「3D星座」、「ボールコースター」の玩具等 約50点
くらしのなかのサイエンス	私たちの生活を支えている科学の中から、「発熱」「発光」「発電」の3つのエッセンスを取り上げ、収蔵資料と現在の製品の展示を通して科学技術の進化を紹介する。	小型ロボット「ムッシュ君」、炊飯器カットモデル、有機ELテレビ等実物資料、レプリカなど 約10点
山口県の産業技術史	山口県の地質や地理的要因を踏まえながら山口県で発展した産業を紹介する。また、日本の近代産業化に貢献した県出身者の業績もあわせて紹介する。	「明治日本の産業革命遺産」紹介映像、D51137機関車模型、凌雲閣エレベータ模型、耐熱フィルム、耐熱繊維コーネックスなど 15点
未来都市模型	太陽光発電や風力発電など環境にやさしい石油代替エネルギーの紹介や未来の乗り物の操作体験。	リニアモーターカー、太陽光導入システム、太陽光発電大賀模型、石油代替エネルギー解説装置

■ 3階理工展示室



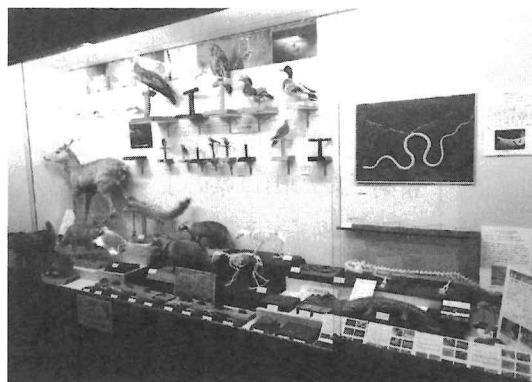
主題	内容	展示資料
体験学習コーナー	子どもから大人まで楽しめるシンプルで独創的なアナログ体験資料で体や頭を使って、楽しみながら自然界や法則や原理を体験。	スイングバイテーブル、どれくらいテーブル、ゾートロープなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が講じられた体験展示資料。
錯視コーナー	目の錯覚を利用して描かれた、おもわず二度見してしまうような錯視イラストを展示。	アモータル拡大錯視、ブルドン錯視、エビングハウス錯視、水彩効果など 10 点
JAXA コーナー	JAXA 提供の人工衛星や宇宙利用・宇宙開発関係の写真やイラストを展示。また人工衛星などの館蔵資料もあわせて展示。	写真及びイラストパネル8枚、人工衛星模型。
収蔵資料コーナー	蓄音機や暗箱式カメラなどの昔の道具や、80 年頃前に理科室で使われていた実験機器などを展示	円盤型蓄音機、暗箱式カメラ、ブラウン管テレビ、ガルバノメータ、機構モデルなど約 50 点
山口線運転シミュレータ	実物機器を備えたディーゼルカーの運転席でハンドルやブレーキを操作することができ、操作にともない、山口線ワイドパノラマ映像のスピードや音が変化することで、本物と同様の列車運転が体験できる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、操作体験は不可とした。

■ 地学展示室



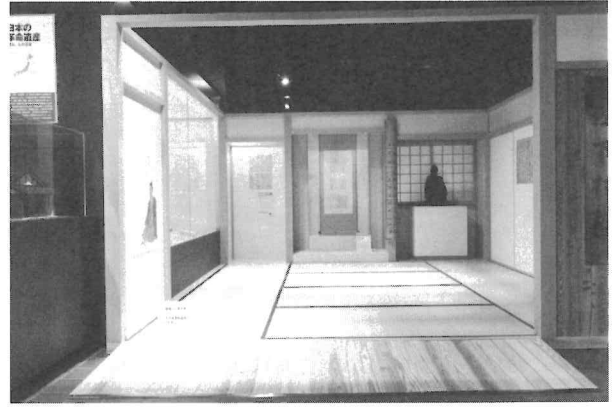
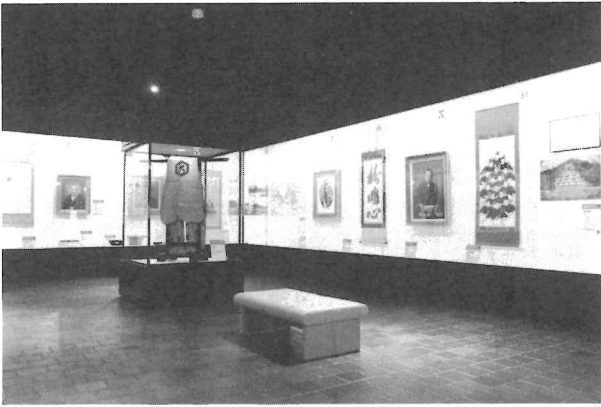
主題	内容	展示資料
山口県の大 地の生い立 ち	シルル紀の山口県のようすを紹介。 石炭紀、ペルム紀の山口県のようすを紹介。 周防変成作用を紹介。 トリアス紀の山口県のようすを紹介。 ジュラ紀の山口県のようすを紹介。 白亜紀の山口県のようすを紹介。 新第三紀の山口県のようすを紹介。 第四紀の山口県のようすを紹介。	県内最古の岩石 2 点 海底火山の岩石 1 点、サンゴ礁に生きてい た生物の化石 25 点 周防変成岩 5 点 美祢層群産化石資料 15 点 アンモナイトなどの化石資料 10 点 火成岩資料 6 点、化石資料 1 点 ホルンフェルスなど岩石資料 3 点、スサガ メなど化石資料 6 点 ナウマンゾウなど化石資料 3 点
地球の歴史	地球の誕生 生命の誕生 真核生物の誕生 酸素の発生 多細胞生物の誕生 魚類の時代 両生類の時代 森林の時代 は虫類の時代 鳥類の時代 ほ乳類の時代	隕石 1 点、最古の岩石 2 点 ピルバラのチャート 1 点 グリパニア 1 点 縞状鉄鉱石 1 点 エディアカラ生物（複製） 5 点 バージェス動物（複製） 2 点 クラウディナ、クックソニア各 1 点 シーラカンス、ボトリオレピス、アcantー デス各 1 点 ディスコサウリスキス 1 点 ロボク、リンボク、フウインボク各 1 点 ディメトロドン（複製）、ブラジオサウルス、 プレシオサウルス（複製）、コンプソグナト ゥス（複製）、ステゴサウルス（模型）、トリ ケラトプス（模型）、ティラノサウルス（複 製）各 1 点 始祖鳥（複製） 1 点 ヤベオオツノジカ（複製） 1 点、ヒト頭骨（複 製） 5 点
その他	山口県の石 山口県地震 山口県火山 山口県岩石 タッチ化石 おたのしみ鉱物 主に顕生代における生物の出現と絶滅、大陸移 動について記した年表 やまぐちの大地の成り立ちアニメ	石灰岩 1 点、美祢層群の植物化石 1 点、 銅鉱石 1 点 プレート模型 2 点 スコリア 1 点、安山岩 1 点、火山弾 7 点 「山口県の岩石図鑑」標本 282 点 恐竜実物化石 2 点 鉱物 6 点 地球史年表（生物の進化編） モニタ

■ 植物・動物展示室



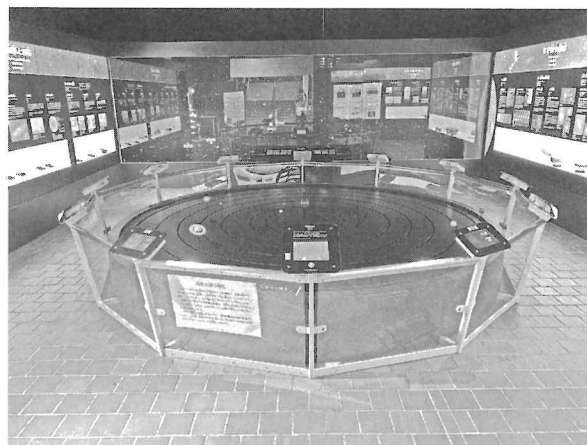
主題	内容	展示資料
山口県植物相のなりたち	県内植物の4つのルーツを示すとともに、帰化植物の現状を紹介する。	レプリカ、標本など約30点
山口県の動物	山口県内に生息する代表的な昆虫類・鳥類・爬虫類・両生類・哺乳類類を紹介する。	昆虫類標本約1,000点、鳥類・哺乳類剥製30点、両生類・爬虫類レプリカ30点、剥製1点
山口県の植物	山口県内各地や博物館周辺の植物の情報を写真や解説、4コマ漫画などで紹介する。	緑のたより（山口県版、博物館周辺版他）、緑の小話、植物ニュース、植物クイズ
山口県の植物・動物ジオラマ	山口県の特徴的な植物相（フローラ）・動物相（ファウナ）を6シーン1／1のジオラマで紹介する。 ・海浜 ・市街地 ・河岸・ため池 ・草地 ・里山 ・深山	・ハマボウ・ハマオモト他 全5種 ・イソシギ・カブトガニ他 全8種 ・コバンソウ・マツヨイグサ他 全8種 ・ミシシippアカミミガメ他 全7種 ・キシツツジ・ホテイアオイ他 全7種 ・アカザ・カワセミ・マシジミ他全20種 ・アカネスゲ・オキナグサ他 全7種 ・ニホンアナグマ・キジ他 全5種 ・スダジイ・ギンリュウソウ他 全19種 ・タヌキ・モリアオガエル他 全32種 ・ブナ・カタクリ他 全12種 ・ツキノワグマ・ヤマネ他 全24種 植物合計61種 動物合計96種

■ 考古・歴史展示室



主題	内容	展示資料
はじめての考古学	小・中・高等学校の教科書にも登場する縄文・弥生・古墳時代の考古資料を中心にわかりやすく展示・解説している。	板状土偶、石棒、石鏃、磨製石斧、石包丁、銅鏡、馬具、短甲、勾玉、紡錘車、須恵器、耳環（展示替えあり）
明治維新と長州藩	明治維新関係資料を特集展示。特に、松下村塾コーナーでは、門下生関係資料を随時紹介。	萩城下町図屏風、毛利氏歴代肖像、毛利敬親肖像、来島又兵衛肖像、周布政之助所用陣羽織・袴、吉田松陰書簡、木戸孝允所用硯箱ほか（展示替えあり）
防長の絵図	館蔵の防長関係絵図を紹介	萩城下町絵図、行程記、芸州吉田郡山絵図

■ 天文展示室



主題	内容	展示資料
太陽系運行模型	8つの惑星が実際の公転時間の比率どおりに、太陽の周りを回り、各惑星の特徴についても、画像を使いわかりやすく解説する。	動く惑星の模型（直径4m）、 モニタ 12台
太陽系と隕石	太陽系が生まれて、現在の姿になるまでの歴史をたどるとともに、隕石についても解説する。	隕石 12点（うち2点は山口県内落下の隕石）、隕石レプリカ2点、写真5点、イラスト5点、玖珂隕石投影装置
宇宙の構成	太陽系・銀河系・銀河系外の宇宙へと、スケールを変えて繋がる宇宙の広がりを紹介する。	惑星等の模型9点、写真13点、イラスト5点、フーコーの振り子
天文学の歴史	山口博物館が収蔵している天体観測機器など、天文学史に関する資料を展示。	山口博物館の収蔵資料（実物）3点、写真7点
天文ニュース	日食、惑星、季節の星座など天文現象に関する話題・予報をイラスト・写真等を使用し、紹介する。	主な天文現象の解説記事6点
山口の星空	山口県から見ることができる星空を、大型蛍光星座板で展示。	2.6m×7.5mの大型蛍光星座板
JAXA コーナー	JAXA 提供の月面及び小惑星探査機（はやぶさ2）帰還の映像を大型ディスプレイで上映する。	モニタ（55インチ）

■ 天体観測室

本館の4、5階が天体観測準備室、天体観測室（アストロ光学 5mドーム）となっている。20cm屈折赤道儀（ニコン社製）を設置し、天体部門の教育普及活動・調査研究に使用している。



■ 屋外展示

<考古分野>

- 縄文アラカシ 佐賀県坂の下 (縄文時代) 1点
- 箱式石棺 山口市大内川向 (弥生時代) 1基
- 箱式石棺 山口市赤妻 (古墳時代) 1基
- 大阪城築城石材 周南市大津島 (江戸時代) 1点

- 山口市赤妻古墳出土の^{くりぬき}刳抜式舟形石棺
1908（明治41）年の土取作業時に発見された。山口県下唯一の例で、1993（平成5）年に県の有形文化財に指定。

巨大な砂岩を刳抜いて作られたもので、全長231cm、最大幅98cm、全高60cm、蓋に4、身に2（うち1欠損）の縄掛突起を持っている。

山口盆地を統率した女性首長の棺と推定されている。



- 山口市白石茶臼山石棺群

遺跡は山口盆地中央部に延びる鴻ノ峰山麓南支丘末端部、標高約35mの位置に立地していた。1968（昭和43）年の住宅造成中に総数9基の箱式石棺が発見され、調査後、すべての遺構が当館敷地に移築復元された。弥生時代終末期～古墳時代前期における墳墓形態の変遷が見学できる。



<理工分野>

- D60形式1号機関車

この機関車は、1927（昭和2）年に川崎造船所で誕生し、東海道本線や山陽本線などで活躍していたD50型機関車の改造車で山口県の旅客・貨物輸送を最後に1966（昭和41）年廃車になった。

博物館では、この由緒ある機関車を1968（昭和43）年9月に当時の国鉄から借り受け、屋外展示している。



<地学分野>

○山口県の化石

特牛の貝化石（新生代） 下関市
吉母の貝化石（中生代） 下関市
秋吉台の石灰岩（古生代） 美祢市

○山口県の岩石

斑れい岩（萩市）、安山岩（萩市）、凝灰岩（萩市）、花崗岩（山口市）、砂岩（美祢市）、泥岩（下関市）、石灰岩（美祢市）、チャート（岩国市）、片岩（山口市）、片麻岩（岩国市）



<植物分野>

○ 樹木プレート

博物館の敷地内とその周辺（春日山）の散策路に代表的な樹名の解説プレートを45枚（2020年度末現在）設置して、樹木の名前と簡単な特徴の解説をしている。



令和2年度特別展「生物の進化と恐竜ワールド」 発見！探検！6億年のタイムトラベル」開催要項

1 趣 旨

現在の地球には、多様な生物が相互に関わり合いながら生息しています。この多様性は、今からおよそ6億年前のカンブリアの大爆発とよばれる、地球史上の大事件が起きたところから始まっています。その後、生物は海から陸への進出や数回の大量絶滅などを経て進化してきました。そして今、多様な生物の関わりが私たちの豊かな暮らしへとつながっていることを再認識する動きが広がっています。

本展覧会は、古生代から新生代に至る生物の化石や山口県内で発見された恐竜化石の展示等を通じて、6億年の生物の進化の過程をたどるとともに、恐竜をはじめとした生物の多様性について理解を深めるものです。

2 会 期

令和2年8月7日(金)～9月22日(火) 36日間開催

開館時間 9:00～16:30 (入館16:00まで)

休館日 (月曜日と火曜日。ただし8月10日(月)、9月21日(月)、9月22日(火)は開館)

3 会 場

山口県立山口博物館 3階展示室 (山口市春日町8-2)

4 入館料

一般1,000円、学生・シニア(70歳以上) 650円

(19歳未満の方及び高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料)

5 主 催

山口県、山口県教育委員会、「生物の進化と恐竜ワールド」実行委員会(山口県立山口博物館、(公財)山口県ひとづくり財団、(地独)山口県産業技術センター、y a b 山口朝日放送、山口新聞社)

6 後 援

NHK山口放送局、エフエム山口、C - a b l e 山口ケーブルビジョン、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社

7 協 力

一般財団法人進化生物学研究所、岡山理科大学—モンゴル科学アカデミー古生物学研究所共同調査隊、神奈川大学工学部物理学教室、北九州市立自然史・歴史博物館、下関市立考古博物館、丹波市立丹波竜化石工房ちーたんの館、東京農業大学、福井県立大学恐竜学研究所、三重県総合博物館、美祢市立秋吉台科学博物館、美祢市歴史民俗資料館、むかわ町穂別博物館、山口大学地域創生センター、山口地学会

8 展示内容

第1章 探検!! 6億年のタイムトンネル

古生代から新生代まで6億年の進化の過程をたどる貴重な化石約60点を展示します。

- ・（古生代）多種多様、足がいっぱい三葉虫
- ・（中生代）うずまきもいいけどまっすぐもあるよ、いろんな形のアンモナイト
- ・（新生代）南米アンデスの大型哺乳類、アンデスマストドン
- ・すべての時代を知っている、生きている化石シーラカンス

第2章 発見!! 恐竜ワールドへGo!

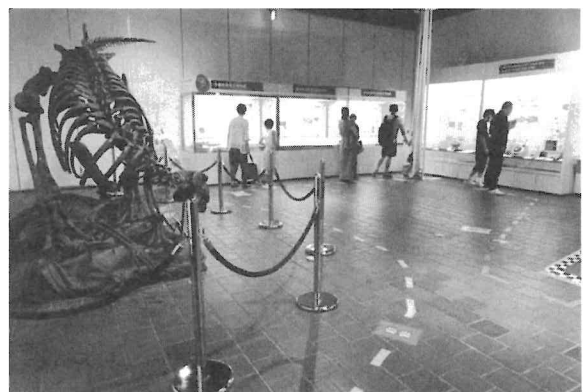
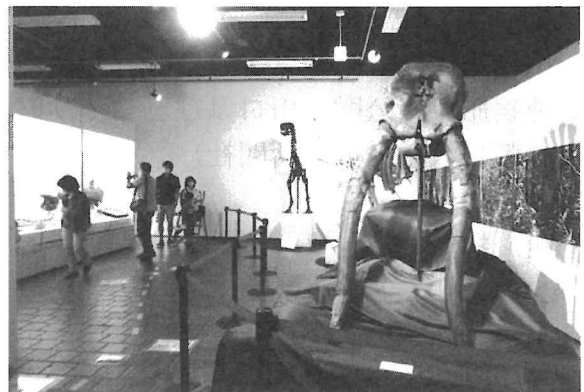
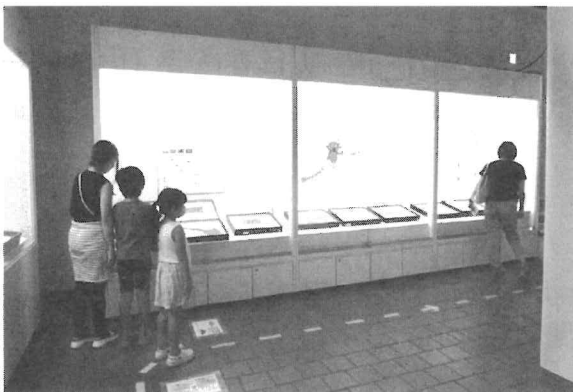
世界各地で発見された恐竜の化石約20点を展示し、最新の恐竜学研究にもとづく映像や写真を紹介します。

- ・戦車のような装甲をもつアンキロサウルスの頭骨や大型肉食恐竜アロサウルスの右脚など恐竜の骨、歯、爪の化石の展示
- ・走るティラノサウルスなど最新の恐竜学研究の紹介映像と写真
- ・実際の発掘調査の様子を伝える記録映像

第3章 躍動するやまぐちの古生物たち

山口には存在しないと考えられていた恐竜の化石発見や相次ぐ新種の報告など、山口県産の化石約20点をダイナミックな山口の大地の成り立ちとともに紹介します。

- ・下関産の恐竜の足跡化石
- ・足跡化石の主と考えられるイグアノドンの中かまの全身骨格標本
- ・下関産の恐竜の新種の卵化石
- ・山口県産の化石（秋吉台産の新種のアンモナイト、放散虫・フズリナなど山口の大地の成り立ちを語る微化石など）



サイエンスやまぐち2020

1 趣 旨

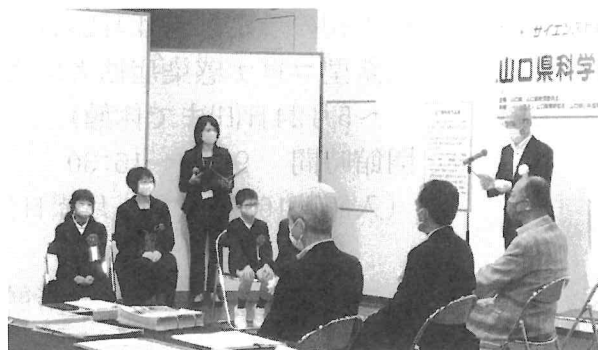
「サイエンスやまぐち」は、児童・生徒たちが常日頃研究してきた成果を、作品の展示や研究発表会を通して広く県民の方々に見ていただく場を提供し、その成果を顕彰することで、科学に対する関心と研究の意欲を醸成する。あわせて、青少年の自然や科学への関心を深め、科学活動が活発となることを期待する。

2 主 催

山口県、山口県教育委員会

3 共 催

一般社団法人山口県発明協会
山口県小学校教育研究会理科部
山口県中学校教育研究会理科部
山口県高等学校教育研究会理化部会
山口県高等学校教育研究会生物部会



サイエンスやまぐち開会式

4 構 成

(1) 第74回山口県科学作品展

- ・自然の部 県内の児童生徒が、自然を相手にして取り組んだ観察・実験の研究物の優秀作品 142点
- ・創造の部 県内の児童生徒が、今年度創意工夫した生活用具や遊び用具などの優秀作品 33点

期 間 令和2年10月30日(金)～11月15日(日)

※開場時間 9:00～16:30 入場は16:00まで

※11/2(月)と11/9(月)は休館日、15日間開催

※10/30(金)は、開会行事終了後に開場(10:30頃)

会 場 山口県立山口博物館(山口市春日町8-2)

観覧料 常設展入館料に含む

一般150円(団体120円) 学生100円(団体80円)

19歳未満及び70歳以上、高等学校・中等教育学校・特別支援学校等に在籍する生徒は無料。団体は20名以上

(教育・文化週間期間中の11月1日(日)～7日(土)は、すべての入館者が無料です。)

(2) 第74回山口県科学研究発表会

- ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、今年度は資料・DVD等で発表作品を募集し、教育会館での発表の場を設けず、審査のみを実施した。

発表数 19件

審 査 令和2年11月10日(火)

会 場 山口県立山口博物館 別館講座室・本館会議室

テーマ展

「自然の美 ー植物画でみる日本を彩る花ー」

- 1 趣 旨 全国各地の植物を愛する皆さんが描いた日本を彩る植物の植物画を、画像やマンガによる解説などを添えて展示し、植物の美しさや不思議を紹介することで、自然の素晴らしさに関心をもち、自然を大切にしようとする心を育む機会としました。
- 2 会 期 令和2年(2020年)5月26日(火)～7月12日(日)
※当初の予定は、4月24日(金)～5月24日(日)
(新型コロナウイルス拡大により、4月14日(火)～5月24日(日)まで休館)
開館時間 9:00～16:30
(入館は16:00まで。月曜日休館)
- 3 会 場 山口県立山口博物館 3階展示室
- 4 主 催 山口県立山口博物館
- 5 協 力 日本植物画倶楽部
- 6 観覧料 常設展観覧料(一般150円、学生100円)
*70歳以上、19歳未満の方及び高等学校・中等教育学校・総合支援学(特別支援学校)等に在学する生徒は無料。
- 7 内 容
 - ・日本植物画倶楽部の会員が描いた植物画22点(24種)を展示
 - ・それぞれの植物画に関連する標本17点や画像、4コマ漫画や川柳風の解説などを展示
- 8 その他 日本植物画倶楽部には、2007年(H19)にテーマ展「植物画でみる帰化植物」、2013年(H25)にテーマ展「植物画でみる日本の固有植物」展で協力していただいている。



テーマ展

—時の記念日100周年記念— 「時」展覧会2020

1 趣 旨

時の記念日は、671年の6月10日に天智天皇が漏刻（水時計）ではじめて時を知らせた故事に由来します。1920年に東京教育博物館（現在の国立科学博物館）で開催された「時」展覧会を契機に、東京天文台と生活改善同盟会により制定されました。

本テーマ展では、100年前の「時」展覧会や時の記念日にまつわるエピソード、時や暦に関する資料、時計の歴史や技術の進歩に関する展示をしました。展示をとおして「時」や「暦」について考えるきっかけになるように企画をしました。

2 会 期 2020年6月5日(金)～7月12日(日) 33日間開催
9:00～16:30（入館は16:00まで、毎週月曜日休館）

3 会 場 山口県立山口博物館 3階

4 主 催 山口県立山口博物館

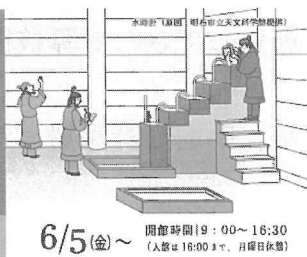
5 協 力 明石市立天文科学館

6 観覧料 常設展観覧料（一般150円、学生100円）
＊70歳以上、19歳未満の方及び高等学校・中等教育学校・総合支援学校（特別支援学校）等に在学する生徒は無料。

7 展示内容

時の記念日にまつわるエピソードや時計の技術の進歩について、実物資料と解説を展示しました。

- (1) 「時」展覧会と時の記念日についてのパネル
- (2) 時計の技術の進歩のパネル
- (3) 当館所蔵の実物資料（時や暦、時計の資料）



テーマ展

「情報通信技術革命 ～コンピュータの誕生からAIまで～」

1 趣 旨

コンピュータやインターネットなど情報通信技術の進化は、私たちの生活を大きく変えようとしています。膨大なデータをもとに、ルールや知識をみずから学習する「人工知能」はスマートフォンなどに搭載されている音声認識アシストや車の自動運転技術などに搭載され、今や私たちの生活に欠かせない技術となってきました。

そこで、会期を1期と2期にわけて、コンピュータや情報通信技術の進化を実物資料や解説パネルで紹介することで、これからの私たちの生活がどのように変わっていくのかを考えるきっかけとするとともに、科学技術への興味・関心を高めます。



- 2 会 期 令和2(2020)年12月4日(金)～令和3年4月11日(日)
(休館日 毎週月曜日。月曜日が祝日の場合は翌火曜日及び年末年始)
- 3 会 場 山口県山口市春日町8番2号 山口県立山口博物館 3階展示室
- 4 観覧料 常設展観覧料に含まれる(一般150円、学生100円)
19歳未満及び70歳以上、高等学校・中等教育学校・総合支援学校(特別支援学校)の生徒は無料

5 展示内容

第1期展示 コンピュータ誕生

(会期：2020年12月4日(金)～2021年4月11日(日))

1章 コンピュータが生まれる前の話

コンピュータ登場前の、そろばんや黒電話など昔の計算道具や通信機器の実物展示を通して、ゆるやかに進化してきた計算技術や通信技術について紹介します。

(展示資料) 算木、そろばん、手廻し計算器、昔の電話など



2章 世界を変えた情報理論

シャノンが生み出した情報理論。この理論によって、それまでの計算技術や通信機器や大きく姿を変えていきます。この章では、シャノンの生み出した情報理論と、そのことによって変わっていく技術のカタチを紹介します。

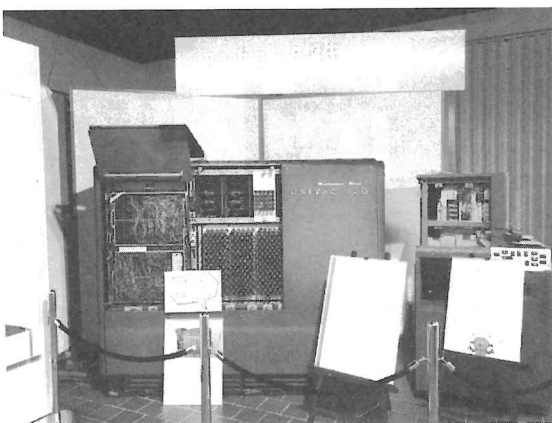
(展示資料) 磁気ドラム、8インチハードディスク、真空管各種など



3章 コンピュータ誕生 (情報理論が生み出した驚異の世界)

計算技術に2進数が導入されることによって、計算機は様々な情報を処理するコンピュータへと進化します。2進数が採用された以降の計算機からコンピュータへの進化と、インターネットによって、世界がつながる様子を紹介し

ます。
(展示資料) 真空管コンピュータ、リレー計算機、スマートフォンなど



第2期展示 コンピュータが情報を収集・分析・選択・提示する世界へ

(会期：2021年3月2日(火)～2021年4月11日(日))

○遊んで学ぼう人工知能（A I）

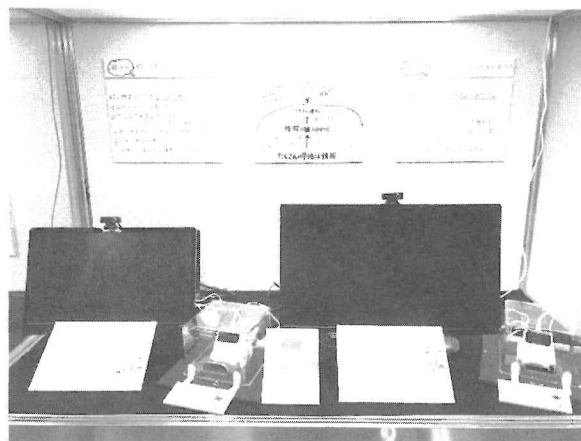
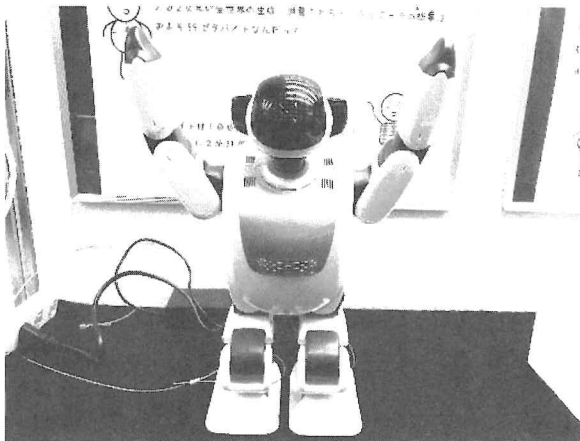
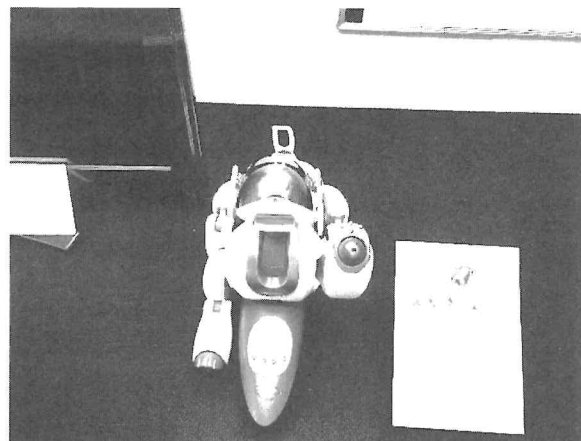
①人工知能（A I）の進化の歴史

②A Iであそぼう！

ロボットとお話しよう A I B OやPARLOなどコミュニケーションロボット

あなたは何歳？ A I年齢推定プログラム音声認識自動翻訳プログラム など

③解説パネルで紹介 これからのA I



理工常設展示の充実 「すごいおもちゃコーナー」の開設

1 趣 旨

当館は、県立の総合博物館として、県民の皆様に本県への理解や愛着を深めていただくとともに、様々な学習機会を提供するため、歴史、自然、理工等7つの分野で本県の貴重な資料を展示しています。

この度、理工常設展示室において、子どもたちが大好きな玩具等を、県内企業の皆様の卓越したものづくり技術でつくっていただき展示する「すごいおもちゃコーナー」を開設することで、未来を担う子どもたちを中心に、ものづくりのしくみや県内企業の技術力の高さをわかりやすく学んでいただきます。



2 会 期 令和2年7月30日(木)～

開館時間 9:00～16:30 (入館16:00まで)

休館日 (月曜日。ただし月曜祝日の場合は翌日が休館)

3 会 場 山口県立山口博物館 2階理工展示室

4 観覧料 常設展観覧料 (一般150円、学生100円)

*70歳以上、19歳未満の方及び高等学校・中等教育学校・総合支援学校(特別支援学校)等に在学する生徒は無料。

5 主 催 山口県立山口博物館

6 共 催 公益財団法人やまぐち産業振興財団

7 展示内容

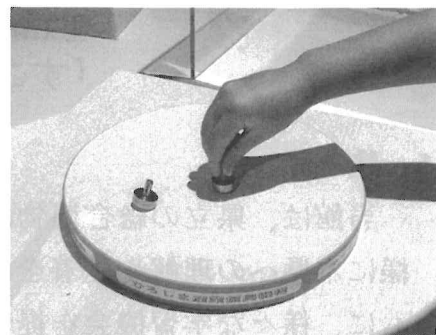
○バランストンボ (㈱サン精機 (萩市))

ステンレスをけずり出して製作。羽根と胴体ももともと1枚の板で、トンボの口先に重心が来るように考えてつてあり、ヤジロベエのように口先でバランスをとって、棒の先に止まることができる。



○まわり続けるコマ（㈱増田工作所（下松市））

タングステンでつくったコマで、三分間も回り続けることができる。腕自慢の全国の企業が参加した2017年の「全日本製造業コマ大戦」で優勝。タングステンのほかにチタン製のコマも展示。



○3D星座（三笠産業㈱（山口市））

蛍光トナーで印刷した星座盤で、ブラックライトで照らして、クロマデプスメガネという特殊なメガネをとおして見ると、星座が浮かび上がって見える。



○ボールコースター（㈱山下工業所（下松市））

アルミの打ち出し板金技術でつくられたボールコースターで、180度ねじれてつながっている。ボールを落とさないで一周させるのはとても難しい。打ち出し板金技術は、新幹線の先頭車両をつくるのに使われている高い職人技術として知られている。



バーチャルによる博物館の利用促進 1

「バーチャル博物館(ミュージアム) in やまはく」の開設

コロナ禍で来館できない人や休校などにより家庭で過ごす子どもたちが増えたことを踏まえて、来館しなくても会場の雰囲気を味わいながら学習もできるなど、少しでも興味をもってもらえるように、当館ホームページ上に「バーチャル博物館(ミュージアム) in やまはく」を2020年5月より当館ホームページ上に開設した。

(2020年度の内容)

- ① テーマ展「植物画でみる日本を彩る花」(2020年5月～)
- ② テーマ展「時」展覧会(2020年6月～)
- ③ 教育普及講座「日食を見る会」(2020年6月～)
- ④ 常設展示理工展示室「すごいおもちゃコーナー」(2020年8月～)
- ⑤ テーマ展「情報通信技術革命」(2021年3月～)



ホームページ(トップ画面)



バーチャル博物館 2



バーチャル博物館 1



バーチャル博物館 3

バーチャルによる博物館の利用促進 2

ミュージックミュージアムinバーチャルやまはく（MMやまはく）推進事業

1 事業の概要など

令和2年度文化庁委託事業「文化芸術収益力強化事業」に公募、採択を受け、デジタル技術を活用した映像配信等による新たな収益基盤の確保・強化を図る取組を実施

★「MMやまはく」の取組内容

- ・展示室や展示収蔵資料をデジタル化し、オンライン化することで、新型コロナウイルスの感染拡大により来館が難しくなった県民にインターネット上での観覧機会を提供する。
- ・県内企業が有する板金技術で製作したアルミ製バイオリンとチェロのコンサートを、博物館の展示室を会場に開催する。
- ・両方を融合させたコンテンツを配信することで、リアルでは得られない鑑賞体験をより多くの人々に提供し、利用者層の拡大を図る。

2 事業概要

- ① 館内(展示室)でアルミ製のバイオリン&チェロコンサートを実施・収録(無観客)
【使用機材】当館の「すごいおもちゃコーナー」に展示している打ち出し板金技術で製作したバイオリンのアルミ版を(株)山下工業所(下松市)から借用。チェロも借用した。
【演奏者】山口県交響楽団の協力により、2名の演奏者が参加
【演奏曲】カノン、喜びの歌などクラシック8曲
【撮影方法】理工、地学、天文、動植物の4展示室内の展示資料前で撮影
- ② 主要な資料(14点)を360°高精細映像等で撮影。展示室も同様に3D撮影
【撮影する資料】14点。山口県に特にゆかりのあるヤベオオツノジカ骨格標本、花こう岩の晶洞、玖珂隕石、アナグマ、ツバキなど
【撮影方法】360°高精細3D映像。隕石は落下の様子をCGで再現
【展示室】5展示室と天文ドームをウォークスルー体験できる3Dで撮影。資料映像をタグ付け
- ③ ウェブサイトで、MMやまはくの公開・発信(無料配信)
館内の展示室を3Dウォークスルー体験しながら、展示資料を拡大、360°で詳しく観覧したり、ジオラマを小動物の視点で観察体験したりすることができる。

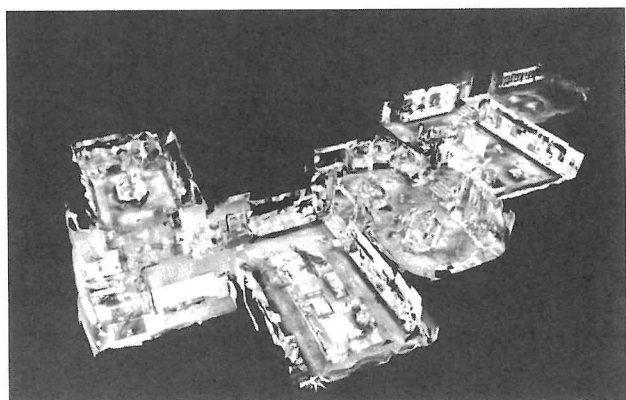
3 配信開始 2021年2月8日(月) (当館ホームページ上で配信開始)



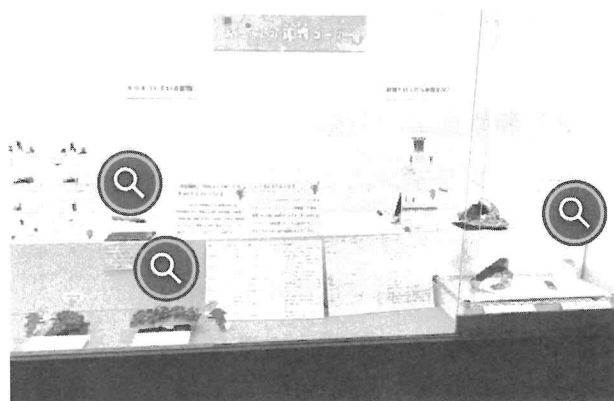
ホームページ等のバナー



金属製楽器の演奏風景



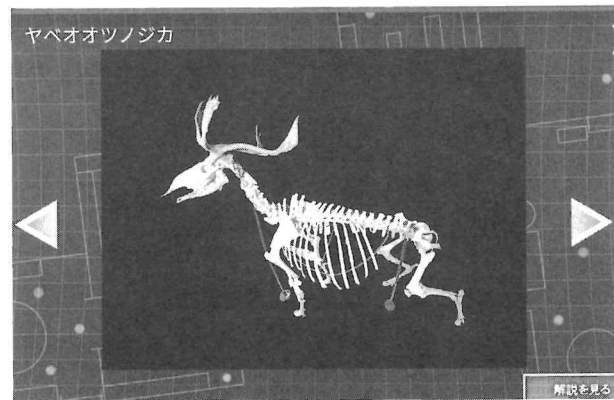
館全体の3Dマップ



展示室映像の画面（地学）



展示室映像の画面（動植物）



ヤベオオツノジカ骨格標本の3D



展示室映像の画面（小動物の視点）



仁保隕石落下の解説CG

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について（2020 年度）

（１）入館者への対応

- 入館時に、「体調チェック表（問診票）＆連絡先記入カード」の提出
- 入館時に、赤外線サーモグラフィでの検温の実施
- 館内でのマスク着用をお願い（持参していない人には簡易マスクを渡す）
- 入館時の手指の消毒や、こまめな手洗いの徹底
- 来館者の人数によっては、入場制限をする



検温と体調チェック表記入

（２）特別展での対応

- オンラインによる事前予約を原則とし入館者数の制限を行う
（20分間隔で定員を設ける）
- 館全体の動線設定と間隔保持のための誘導サイン、フロアマーカー設置
- 火曜日も休館とし、清掃業者による消毒徹底

（３）当館の行事や活動における感染防止の取り組み

- 展示観賞中心とし、体験型・接触型の機器は一部を除き使用中止。
（VR機器、山口線運転シミュレーター、理工体験コーナーなど）
- 教育普及講座について
 - ・6月以降の講座は、人数制限、マスク着用、消毒などの対策のもとで実施
- 社会見学など団体での来館について
 - ・8月以降は、人数制限、マスク着用、消毒などの対策のもとで実施
- 出前授業、職場体験、教材貸出など
 - ・人数制限、マスク着用、消毒などの対策のもとで実施
- サポーター活動について
 - ・マスク着用、消毒などの対策のもとで実施
- レファレンス活動について
 - ・マスク着用、消毒などの対策のもとで実施
- やまはくスタンプラリー2020は中止



体験型機器の自動運転化

（４）当館内における感染防止の取り組み

○館内スタッフの健康管理について

- ・出勤時における、検温、健康状態の確認
- ・マスク着用とこまめな手洗いとアルコールなどでの消毒の徹底

○館内の換気について

- ・入り口の常時解放や外気導入による定期的な換気の実施
- ・換気用サーキュレーターを新たに設置し、館内の換気効率の向上
- ・空気清浄機を新たに設置し、館内の空気環境の向上

○消毒

- ・手指消毒液の設置（展示室内4か所）、他に手洗い用洗面台1か所
- ・来館者エリアの清掃強化、イスや手すり等、共用部分の消毒

○その他

- ・休憩イスの使用制限（ビニールカバーの設置、2人掛け禁止など）
- ・受付窓口に飛沫防止のためのアクリル板設置
- ・間隔保持のための誘導サイン、マーカーなど設置

（5）学校の休校や外出自粛などへの対応

○「バーチャル ^{ミュージアム} 博物館 in やまはく」の開設

- ・当館ホームページ上で公開
 - ①「植物画でみる日本を彩る花」（5/1～）
 - ②「時」展覧会 2020（6/26～）
 - ③「日食を見る会」（6/26～）
 - ④「すごいおもちゃコーナー（8/21～）
 - ⑤「情報通信技術革命」（2021年3/18～）

○「ミュージックミュージアム in バーチャルやまはく」の開設

- ・当館ホームページ上で公開（2021年2月8日～）



三密防止の出前授業(化石レプリカ)

※ 2020年度の新型コロナウイルス感染症への対応の詳細については、当館研究報告 第47号(2021年3月30日発行) P99～P113「新型コロナウイルス感染症の感染症拡大による山口博物館の運営への影響と対応」を参照のこと。

3 調査・研究

(1) 調査研究課題

天文学部門

岩村 和政

- 山口県内の天文資料・落下隕石・古天文機器調査
- 天文展示資料、教育普及活動についての調査研究
- 大型望遠鏡を活用した天体写真や映像配信に関する調査研究

地学部門

赤崎 英里

- 山口県の岩石資料調査
- 山口県の地質に関する調査

植物学部門

杉江 喜寿

- 山口県産植物の分布・生態調査
- 収蔵資料のデータベース化
- 植物資料の効果的な展示や博物館教育及び教育普及活動への活用についての研究

動物学部門

田中 浩

- 山口県内に生息する哺乳類の生息分布・生態調査
- 山口県内の動物の生息分布調査及び標本。文献、情報のデータ化
- 山口県における中型食肉目の社会構造・生態および競合関係の解明
- 山口県内に生息する天然記念物種の生息分布・生態調査

考古学部門

荒巻 直大

- 山口県内の遺跡に関する調査・研究
- 歴史時代の考古資料に関する研究
- 考古分野の効果的な展示や教育普及活動への活用についての研究

歴史学部門

山田 稔

- 萩藩絵図方に関する調査研究
- 近世防長の街道関係資料調査
- 歴史分野における古文書の効果的展示方法に関する研究

理工部門

漁 剛志

- 山口県の産業に関する調査・研究
- 科学技術史に関する調査・研究
- 固体表面物性に関する最新動向調査

(2) 研究発表・著作

岩村 和政

- 2020. 6 「「時の記念日」制定100周年」. サンデー山口 (6月5日号)
- 2021. 1 「星は昴」. サンデー山口 (1月6日号)
- 2021. 1 「東亜天文学会と山口県立博物館」(共著). 東亜天文学会「天界」
2021年1月号
- 2021. 2 「コロナ禍の山口博物館天文活動の紹介」(口頭発表). 中国・四国地区天文教育研究集会(オンライン)
- 2021. 3 「テーマ展「空の不思議な写真展」の概要について」. 山口県立山口博物館研究報告第47号
- 2021. 3 「テーマ展「一時の記念日100周年記念―「時」展覧会2020」の概要について」. 山口県立山口博物館研究報告第47号

赤崎 英里

- 2020. 8 「特別展「生物の進化と恐竜ワールド」がはじまるよ！」サンデー山口(8月5日号)
- 2020. 9 「特別展「生物の進化と恐竜ワールド」 大量絶滅に注目！」
- 2021. 3 「特別展 生物の進化と恐竜ワールド 発見！探検！6億年のタイムトラベル」の実施報告」山口県立山口博物館研究報告 第47号

杉江 喜寿

- 2020. 5 「カラスとスズメとその間」サンデー山口 (5月6日号)
- 2021. 3 「ミュージックミュージアムって？」サンデー山口 (3月3日号)
- 2021. 3 「コロナ禍において開催したテーマ展「自然の美 ―植物画でみる日本を彩る花―」」山口県立山口博物館研究報告第47号
- 2021. 3 「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による山口県立山口博物館の運営への影響と対応」山口県立山口博物館研究報告第47号

田中 浩

- 2020. 11 「ハナアブ」サンデー山口 (11月6日号)
- 2021. 3 「山口市におけるタヌキの疥癬罹患の拡がり」山口県立山口博物館研究報告第47号
- 2021. 3 「山口市市街地近郊のニホンザルの生息状況」山口県立山口博物館研究報告第47号

荒巻 直大

- 2020. 10 「意外と身近にある遺跡」サンデー山口 (10月7日号)
- 2021. 3 「山口県立山口博物館所蔵の長州藩札について」山口県立山口博物館研究報告第47号

山田 稔

- 2020. 4 「木戸が描いたワンチームの図」サンデー山口 (4月1日号)
- 2020. 7 「毛利家伝来の将棋盤」サンデー山口 (7月1日号)

- 2021. 3 「史料紹介 手鑑「多々良の麻佐古（１）」（共著）山口県立山口博物館研究報告第47号
- 2021. 3 「萩藩郡方地理図師有馬喜惣太―その生涯と事績―」．防府史談会「佐波の里」 第49号

漁 剛志

- 2020. 12 「情報化時代を創ったクロード・シャノン」サンデー山口(12月2日号)
- 2021. 2 「磁気コアメモリを知っていますか」サンデー山口(2月3日号)
- 2021. 2 第28回全国科学博物館協議会研究発表大会 口頭発表
- 2021. 3 「すごいおもちゃコーナー」の開設とテーマ展「情報通信技術革命」の概要について」山口県立山口博物館研究報告第47号

4 教育普及

(1) 講座等

講座等

部門	講座名・内容	実施日	場所	対象	受講者
天文	日食を見る会 講師：岩村 和政（山口博物館）ほか	6/21	当館	一般県民	25
	木星と土星を見る会 講師：岩村 和政（山口博物館）ほか	8/22	当館	一般県民	中止
	月と土星を見る会 講師：岩村 和政（山口博物館）ほか	9/26	当館	一般県民	36
	火星を見る会 講師：岩村 和政（山口博物館）ほか	10/23 ・ 25	当館	一般県民	42
	オリオン大星雲を見る会 講師：岩村 和政（山口博物館）ほか	2/6	当館	一般県民	26
地学	地質めぐり（第1回） 講師：今岡 照喜（山口大学名誉教授）	5/30	山口市	一般県民	※中止
	地質めぐり（第2回） 講師：大橋聖和（山口大学大学院創成科学研究科准教授）	10/18	美祢市	一般県民	15
	スライスした岩石を観察しよう 講師：赤崎 英里（山口博物館）	3/7	当館	一般県民	12
植物	植物教室①：植物（押し葉・さく葉）標本を作ろう！ 講師：杉江 喜寿（山口博物館）	6/27	当館	一般県民	14
	植物教室②：葉脈標本でしおりを作ろう！ 講師：杉江 喜寿・小林信善・梅木勇治（山口博物館）	8/29	当館	一般県民	14
	植物教室③：秋の植物のふしぎを調べて飾りを作ろう！ 講師：杉江 喜寿（山口博物館）	10/10	当館周辺	一般県民	10
動物	初夏の昆虫観察 講師：田中 浩（山口博物館）	5/30	鴻ノ峰	小学生	※中止
	夏の昆虫観察と標本作り 講師：田中 浩（山口博物館）	7/25～ 26	当館周辺	小学生	30
	秋の昆虫観察 講師：田中 浩（山口博物館）	9/27	鴻ノ峰	小学生	26
	里山の動物観察会 講師：田中 浩（山口博物館）	3/21	山口市 里山	一般県民	※中止
考古	埴輪を作ろう！ 講師：荒巻 直大（山口博物館）	5/9	当館	一般県民	※中止
	勾玉を作ろう！ 講師：荒巻 直大（山口博物館）	8/8	当館	一般県民	17
	古代ウォーク 講師：横山 成己（山口大学埋蔵文化財資料館助教） 水久保 祥子（同上技術職員）	10/31	山口市	一般県民	12
	古代の機織りでコースターを作ろう！ 講師：荒巻 直大（山口博物館）	11/28	当館	一般県民	12

歴史	歴史探訪「古地図を片手に街を歩こう―肥中街道・山口編1―」 講師：山田 稔（山口博物館）	5/23	山口市吉敷地区	一般県民	※中止
	実技講座「掛け軸の取り扱い方」 講師：山田 稔（山口博物館）	9/26	当館	一般県民	18
	歴史探訪「古地図を片手に街を歩こう―肥中街道・山口編1―」 講師：山田 稔（山口博物館）	12/5	当館	一般県民	11
理工	ロボットプログラミング教室（初級） 講師：漁 剛志（山口博物館）	6/14	当館	一般県民	22
	科学工作講座 講師：漁 剛志（山口博物館）	8/5～6	当館	一般県民	36
	雪の結晶をつくろう！ 講師：漁 剛志（山口博物館）	12/13	当館	一般県民	20
	ロボットプログラミング教室（中級） 講師：漁 剛志（山口博物館）	2/14	当館	一般県民	24
参加者数 合計					1,647

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（4講座）

(2) 学芸員派遣・社会貢献

岩村 和政

- ・日本のクリスマスは山口から実行委員（山口商工会議所）

赤崎 英里

- ・山口大学・美祢市パートナーシップ事業運営協議会監事
- ・第10回「科学の甲子園」山口県大会における委員
- ・教材に関する指導・助言（山口県立小野田高等学校）
- ・山口県埋蔵文化財センター令和2年度発掘調査遺跡石材鑑定（山口県埋蔵文化財センター）
- ・山口地学会事務局

杉江 喜寿

- ・山口県希少動植物調査検討専門部会員（山口県自然保護課）
- ・美祢市立博物館等施設将来構想検討委員会委員（美祢市）
- ・タンポポ調査・西日本2020山口県事務局
- ・山口大学博物館実習講師（オンライン講座、山口大学人文学部）

田中 浩

- ・日本哺乳類学会 『哺乳類科学』編集委員 責任編集2編
- ・西中国山地ツキノワグマ保護管理対策協議会委員（山口県・広島県・島根県）
- ・山口県鳥獣被害防止対策協議会（山口県農林水産政策課）
- ・山口県野生生物保全対策検討委員会委員（山口県自然保護課）
- ・山口県イノシシ対策検討委員会委員（山口県自然保護課）
- ・山口県シカ対策検討委員会委員（山口県自然保護課）
- ・山口県サル対策検討委員会委員（山口県自然保護課）
- ・防府市文化財審議会委員（防府市）
- ・下関市立豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員（下関市）
- ・木屋川ダム再開発事業環境影響評価技術検討委員（山口県河川課）
- ・山口生物学会事務局

- ・至誠館大学非常勤講師（生物学）

荒巻 直大

- ・山口県地方史学会幹事
- ・「こどもワイワイ図書館」講師（山口市立中央図書館）

山田 稔

- ・山口県立大学非常勤講師（博物館学内実習Ⅱ）
- ・山口県史編さん調査委員
- ・山口県史編さん執筆委員
- ・下関市立歴史博物館協議会委員
- ・防府市文化・スポーツ課所管の公の施設及び山頭火ふるさと館の指定候補者選定委員会委員
- ・岩国市博物館等施設再整備計画検討委員会委員
- ・毛利博物館資料評価委員
- ・山口県地方史学会幹事
- ・「絵図で見る防長の街道－萩往還・赤間関街道・石州街道－」（2020.12.18、萩市中央歴史講座講師）
- ・「萩藩郡方地理図師 有馬喜惣太－その生涯と事績－」（2021.1.23、防府史談会歴史講演会講師）
- ・「絵図に見る近世広島街道－「行程記」・「芸州吉田行程記」－」（2021.3.14、広島城アカデミック講座・生涯学習支援講座講師）

漁 剛志

- ・サイエンスやまぐち2020創造の部審査員
- ・2020やまぐち発明くふう展審査員
- ・2020やまぐち未来の科学夢絵画展審査員
- ・2020年度プログラミング教育推進委員会推進委員（山口県教育委員会義務教育課）
- ・岩国市科学センター整備検討委員会委員

(3) レファレンス

教育普及活動の一環として、各部門の学芸員によるレファレンスサービスを行っている。

電話・郵便・来館いずれでも随時受け付けている。

令和元年度は、個人では小学生から成人まで、団体では学校、各種機関、企業、報道機関等多方面から相談が寄せられた（436件、延199時間）。

各分野の学術的な質問、館蔵資料についての問い合わせ、資料の同定依頼等が多い。

なお、考古・歴史資料の鑑定依頼は受け付けていない。

（時間の単位：時）

部門	天文	地学	植物	動物	考古	歴史	理工	計	（昨年度）
件数	48	21	56	171	35	76	29	436	（450）
時間	23	7	29	86	9	38	7	199	（242）

(4) 学校や地域団体への教育支援

博物館と学校/地域との連携を進めるために、平成16年度から以下の事業を実施している(地域との連携事業については平成19年度から)。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出前授業の実施会場など三密を避ける工夫を徹底し、「昆虫教室」「大地のつくり」「ミニ博物館」のプログラムは密になるため実施していない。また、社会見学等の来館対応では、同時刻に2団体以上の受け入れをしない、団体間の時間を1時間以上空ける、入館前の検温、体調チェックを徹底する、等の対策を実施した。

① 出前授業

学芸員や長期研修教員(ミュージアムティーチャー)が学校等に行き、収蔵資料や機器等を可能な範囲で活用しながら、より質の高い授業になるように、学校等の教育活動を支援した。

教科の学習や総合的な学習の時間の学習、資料展示など、学習内容などを協議して実施し、令和2年度にはロボットプログラミング教室、昆虫教室、化石レプリカづくり、天体観測、勾玉づくりなどのプログラムを、小・中学校など203団体のべ3,341人に実施した。

② 社会見学などに関する対応

社会見学などの団体見学に対し、担当者による館内案内や展示の解説、ワークシートなどを利用した学習を行っている。令和2年度には、小学校、中学校、特別支援学校など67団体、3,038名の利用があった。

③ 職場体験学習への対応

施設見学や学芸員の解説、社会見学ガイド実習等、各種体験活動をとおして、学芸員の仕事や博物館の機能について学習している。令和2年度は中学校4校、7名を受け入れた。

④ 館内授業

学習内容に沿って、展示資料や収蔵資料などを活用し、学芸員の解説なども含めて館内授業を行っている。令和2年度は、化石レプリカづくり、葉脈標本づくり、勾玉づくりなどのプログラムを小学校、中学校など13校、241名に実施した。

⑤ 教材貸出

小・中学校用の学習教材の開発を手がけている。研修教員が出前授業等で使用する教材、学校が各教科や総合的な学習の時間等で使用する教育用資料を準備した。令和2年度は、34団体への貸出を行った。

⑥ 学習コーナー

学習コーナーとして、図書約900冊を用意し、各分野の学習ができる環境を整備している。コーナーの一部には山口県の自然や歴史・科学・宇宙などに広く関心をもたせるために「なっとくんニュース」や出前授業の制作品を展示した。

⑦ 長期研修教員(ミュージアムティーチャー)

令和2年度は、中学校教諭(2名)、小学校教頭(1名)の3名が1年間研修を行った。研修内容は、博物館学校地域連携教育支援事業の実施を通じた博物館の機能に関する一般的な研修、専門的な研修、県内外の博物館視察、報告書の作成などである。

⑧ 博物館一日体験研修

小・中・高等学校の教員計34名が一日の研修を行った。研修内容は、博物館機能の解説講義、博物館学校地域連携教育支援事業の実践報告、特別展を含む館内見学、実習である。

⑨ 博物館学校地域連携推進会議

平成22年度から、前ミュージアムティーチャーと当館学芸員とがこれまでの活動を振り返りながら、博物館の人的物的な教育資源を今まで以上に有効に活用して、学校や地域のニーズに対応した質の高いプログラムを提供することを目的とする「博物館学校地域連携推進会議」を開催している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

⑩ 広報活動

博物館学校地域連携教育支援事業の活用を推進するために以下の活動を行ってきた。

- ・各地域の校長会や小・中学校の理科部会などに出向いて本事業の紹介
- ・「博物館ガイド」や「研修報告書」の配付と月1回の「博物館だより」の配信、ホームページ掲載
- ・広報誌「なるほどなっとくニュース」を発行、ホームページ掲載

(5) サポーター制度

サポーター制度は、山口博物館の理念や活動に共感し、ともに山口博物館を作っていくという意志を有する方に登録いただき、博物館の取組等に対する様々なサポート活動を行える。4月から5月は新型コロナウイルス感染防止のため十分な活動ができなかったが、6月からは感染予防対策を施し、サポーター活動を行った。

令和3年3月末の登録者数は55名である。令和2年度の活動はのべ200日以上、のべ700名以上のサポーターが活動をした。今年度の各分野別の活動状況を報告する。

① 天文部門サポーター活動

天体観望会など教育普及の天文行事の実施サポートを行った。観望会の準備、望遠鏡の操作、観望会一般参加者の受付・案内・誘導、観望会での解説、望遠鏡や観望会の片付けなどで、その他資料整理のサポート活動、望遠鏡などの取り扱い・天文現象などについての研修（天文ワークショップ）を行った。天体観望会や天文ワークショップなど年間9回実施し、のべ50人以上の天文サポーターが活動した。



観望会で望遠鏡の操作についての解説



分光シートを用いた科学実験の様子

② 理工部門サポーター活動

収蔵資料の整理やデジタル化、工作講座や特別展などで使用する教材の開発及び教育普及行事のサポートを行うグループに分かれ、それぞれ、火曜日と金曜日及び教育普及行事当日に活動を行った。のべ90人の理工サポーターが活動した。



「科学工作講座」での指導



「雪の結晶をつくろう」での指導

③ 植物部門サポーター活動

植物標本作成（台紙への貼り付け作業など）、植物標本のデータ整理（パソコンへのデータ入力など）、植物標本の配架作業（標本棚への配架や標本の検索・確認など）を行う活動日を水曜日と定め活動を行った。

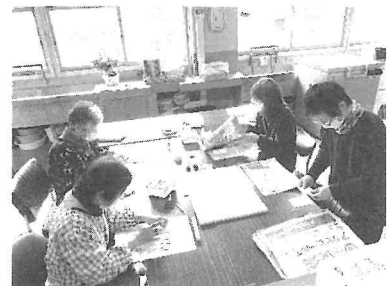
また、教育普及講座のサポート活動や西日本タンポポ調査2020への協力など、のべ140人以上の植物サポーターが活動した。



講座「植物標本づくり」の指導



植物標本の配架作業



植物標本の作成

④ 動物部門サポーター活動

哺乳類・鳥類などの仮剥製・骨格標本作製と登録を行う「ホネっこ」グループの活動はできなかった。毎週木曜を標本整理日と定め貝類・昆虫類・魚類の整理と登録、骨格標本作製作業を行った。GBIF事業については、これまで17,000件の山口博物館の昆虫類標本が公開されているが、本年度新たに9,000件申請した。また、教育普及行事のサポート活動を行い、講師として、参加者の指導と安全管理を行った。地域のインベストリー調査として2015年4月から月2回土曜に鴻ノ峰生物採集・観察・標本作製を行った。2021年1月までの6ヶ年で、昆虫類1,100種以上確認し、採集した個体は7,500を超えた。展示動物サポーターの活動報告として「サポちゃん通信7号」を12月に発行した。のべ400人以上の動物サポーターが活動した。



秋の昆虫観察での指導



昆虫標本の作製作業

(1) 刊行物

山口県立山口博物館研究報告 第47号

当館職員の研究報告で、年1回発行。配布先は全国の博物館、大学、その他の研究機関。

発行部数 650部、B5判、113頁、2021年3月発行

山口県の自然 第81号

山口県の自然に関する報告誌で、投稿は県民に開放している。発行先は、全国の自然系博物館、大学、研究機関、県内の図書館、中学・高校の図書館等

発行部数 700部、B5判、58頁、2021年3月発行

「サイエンスやまぐち2020」出品者目録

「サイエンスやまぐち2020」の開催にあたって出品者・作品のリストを作成し、観覧者に無料配布。

発行部数 1,000部、A4判、4頁、2020年10月発行

山口県立山口博物館館報 第42号

令和元年度の博物館事業の報告書。配布先は県内の小・中・高・大学、博物館、図書館で、県外は当館と関連のある研究・教育機関。

発行部数 800部、A4判、59頁、2021年3月発行

博物館学校地域連携教育支援事業報告書(令和2年度版)

令和2年度の博物館学校地域連携教育支援事業の報告書は、利用案内・長期研修報告として県内の小・中学校等に配布。500部、A4判、74頁、2021年3月発行

(2) 博物館実習・インターンシップ・社会体験研修

学校名	人数(人)	期 間	内 容
博物館実習			
高知大学	1	8/3～8/7	総務一般、学芸一般、展示実習等
梅光学院大学	1		
インターンシップ			
京都橘大学	1	8/3～8/7	博物館業務体験
中堅教諭等資質向上研修			
山口県立美祢青陵高校	1	8/3～5	博物館業務体験
宇部市立上宇部中学校	1		
宇部市立西岐波小学校	1		
宇部市立常盤小学校	1		

(3) 山口県博物館協会（事務局：山口県立山口博物館）

山口県博物館協会は、昭和38年に発足している。現在、山口県内の多くの博物館等が加盟しており、令和2年度末の加盟館数は62館園となっている。

協会の事業は、年1回の総会をはじめ、研修会、各種刊行物の発行など多岐にわたっており、加盟館相互の連携を図りつつ、博物館事業の普及発展を目的として活動を行っている。

山口博物館は、協会発足以来、会長館・事務局を務めている。平成25年度には創立50周年記念式典を挙行了した。

(4) 日本博物館協会中国支部

（事務局：R 2～3 岡山県立博物館）

日本博物館協会中国支部は昭和49年に発足し、中国5県に所在する博物館協会の会員により構成しており、令和2年度末の加盟館数は76館園となっている。

支部の事業としては、年1回の総会をはじめ、研修会、会報の発行などがあり、中国地区内の館園相互の連携を図り、教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として活動を行っている。

山口博物館は、令和2・3年度は理事を務めている。

V 基本方針と令和3年度の事業概要

1 基本方針

(1) 文化の継承と発展に努める

本県は古くから大陸との交流において大きな役割を果たし、特色ある文化を育んできた。当博物館は、様々な活動を通じて山口県の自然と歴史を調査研究し、本県文化の継承と発展・創造に寄与する資料を収集・保管し必要に応じて提供する。

(2) 人文系と自然、理工系の総合博物館として活動する

人文系及び自然、理工系を併せもつ博物館として、その特色を生かしながら、郷土色豊かな総合博物館としての発展を目指す。

(3) 豊かな心を育み人づくりに資する施設として貢献する

心の豊かさと、創造性に富む人づくりの推進の一翼を担う社会教育施設として、活発な活動を行う。

(4) 多彩な博物館活動を行う

- ・ 資料の収集・保管に努める。
- ・ 資料の調査・研究に努める。
- ・ 展示活動の充実を図る。
- ・ 普及教育活動の充実を図る。

2 令和3年度の重点取組事項

新型コロナウイルスの感染状況も睨みつつ、当館の収蔵資料に「リアル」と「バーチャル」の両面で触れて学べる機会を拡充する。

各種講座の安全な実施をはじめ、所蔵資料の活用や他館・大学・団体等との連携を図りながら、地域を再発見する展示に力を入れる。

- ・ リアル＋バーチャルの融合
- ・ 地域を再発見する展示
- ・ 県民参加の促進

(1) 特別展やテーマ展など年間を通じて多彩な展覧会を開催する

- ◇特別展「江戸時代の旅と街道」の開催 ※地域を再発見する展示
 - ・ 当館収蔵の資料を活用。講演や街歩き体験を組み合わせ

◇2つのテーマ展の開催

- ・ 「宝山の一角 山大コレクション in 山博」 ※地域を再発見する展示
- ・ 「動物サポーターの7年」 ※県民参加の促進

◇バーチャル博物館の充実

※リアル＋バーチャルの融合

- ・ 500点の文化資源をデジタル化

(2) 教育普及活動や博学連携事業を安全かつ効果的に実施する

- ◇タイムリーかつ幅広い年齢層を対象とした講座の企画・実施

- ・ 感染防止対策の徹底や事前予約等による3密防止

- ◇MT（ミュージアムティーチャー）と学芸員の連携による出前授業等の実施

- ◇デジタルデータの活用による各種講座の内容充実、オンライン授業の実施・支援

- ◇サポーター活動に対する支援

(3) リアル・バーチャル両面の展示環境を整える

- ◇バーチャル博物館に文化資源500点をデジタル化して追加

- ◇老朽化した施設・設備の適切な維持管理

(4) 情報発信を強化する

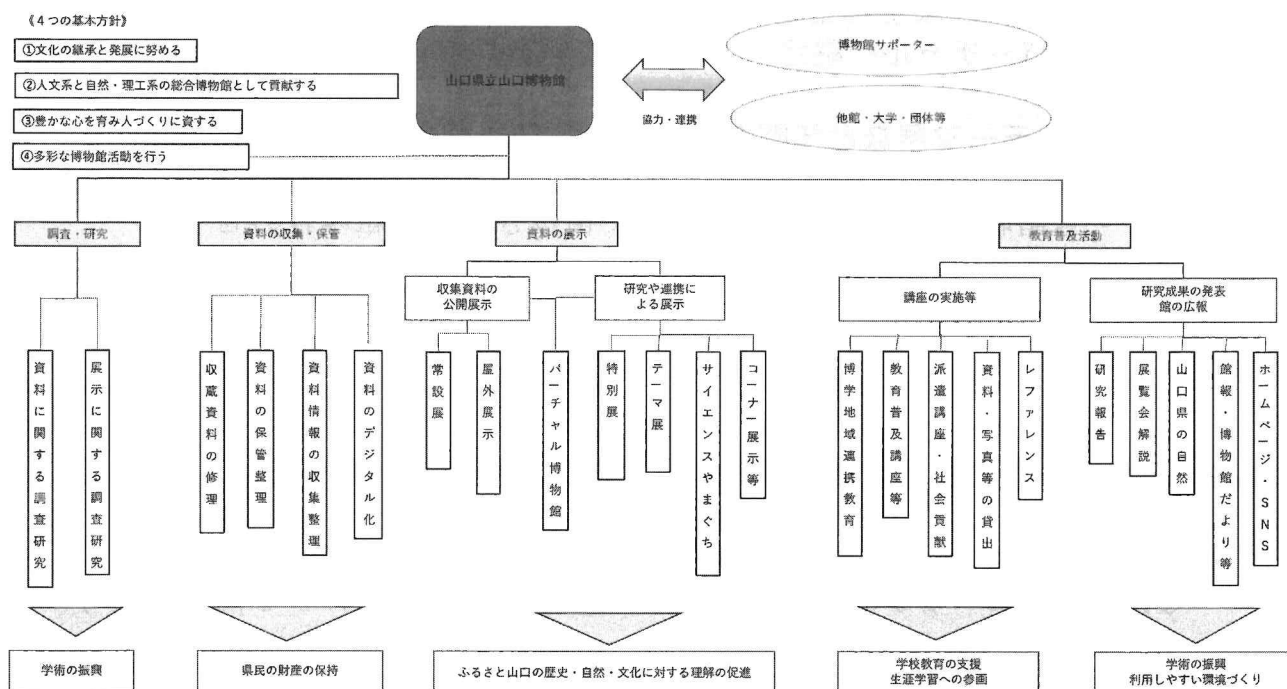
- ◇ SNS (フェイスブック、インスタグラム) による発信
- ◇ 展示資料や山口県に関するメモリアルデイ等を活用した情報発信
- ◇ 常設展・テーマ展等における情報発信の強化

3 達成指標

- ① 総利用者数 (入館・教育普及・レファレンス・出前授業)
 - 過去3年間 (H30、R01、R02) の平均値超
- ② リアル博物館満足度
 - ・ 特別展来館者満足度 (とても良かった・良かった)
 - 過去3年間 (H30、R01、R02) の平均値超
 - ・ 新教育普及講座参加者満足度 → 5段階評価平均値 4.5 超
 - ・ 新博学地域連携事業事後アンケート満足度 (とても良かった・良かった)
 - 90%超
- ③ バーチャル博物館活用度
 - ・ ホームページ閲覧件数 → 前年度超
- ④ 情報発信度
 - ・ 記者発表件数 → 前年度超
 - ・ SNS (フェイスブックやインスタグラム) 閲覧件数 → 前年度超

4 機能

★山口博物館の基本方針と活動体系★



5 博物館活動の展開

基本方針を基調として、下記の各事業活動を実施する。

ア 調査・研究

調査・研究は、博物館活動の基礎となる事業である。その成果は、学術論文や当館の刊行物として公表されるばかりではなく、展示・講座・観察会などに生かされる。山口県の自然・科学・歴史を明らかにする目的で、多様な視点から研究を行う。

総合研究

山口県の自然や科学の現状と歴史を把握し、その起源と成立過程を明らかにすることを目的として、広い領域を対象とした共同研究を行う。

総合研究① 新しい時代の博物館活動に関する総合的研究

総合研究② 山口県の自然と文化に関する総合的研究

重点研究

山口県の自然・科学・歴史及び博物館活動に関する今日的な課題を総合研究の課題に準じて設定し、短期集中的に調査し研究を行うプロジェクト研究を行う。今年度は総合研究①の課題に準じて重点研究①、総合研究②の課題に準じて重点研究②の研究を行う。

重点研究① 山口博物館の歴史と新しい博物館像に関する調査研究

重点研究② 樫野川流域における歴史・自然・科学の総合学術研究

専門研究

学芸員・研究員が専門的なテーマについて、より深く探究することを目的に研究する。

担当	研究分類	課題	内容
岩村	重点①	新しい時代の学校教育やボランティア活動について	「障害者差別解消法」に則した天体観望会における合理的配慮の工夫とボランティアとの連携を探る。
	専門	天体写真の撮影方法や映像のライブ配信についての研究	大型望遠鏡とカメラの接続や撮影方法について研究し、天体写真資料をデータベース化する。また観望会などで、ライブ配信などを活用して情報発信を進める。
赤崎	重点①	興味を引き、理解を深める展示方法について	多数の鉱物資料を観点別にグループ化して展示する。興味を引くだけでなく、理解を深める展示方法について探る。
	専門	岩石資料・化石資料の収集と整理・活用について	新たに収集した資料を含めて資料整理を進め、展示や教育普及講座での活用方法を探る。
杉江	重点①	植物分野関係資料の効果的な展示についての調査研究	スペースの限られた展示室の中で、展示物の配置や展示装置、ICT機器などの工夫によって、わかりやすく興味深い情報をより効果的に展示する。

杉江	専門	山口県のレッドリスト改訂にともなう山口県産植物の分布調査や収集資料の見直し、及び効率的なデータベース化の研究	山口県のレッドリストの改訂にともなう山口県産植物の分布調査や収集資料の見直し、標本整理、資料のデータベース化を進め、山口県産植物の分布の実態を明らかにするとともに資料の活用を進める。
	重点①	山口県産植物に関する調査結果の県民への情報発信及び効果的な活用に関する研究	身近で貴重な山口県の植物の調査結果を発信し、また教育普及活動などで活用していくことで、植物への興味だけでなく山口県の自然への興味関心を高める。
田中	重点②	樫野川流域における脊椎動物（哺乳類・鳥類・両生類・爬虫類・魚類）の生息分布調査と分布特性の解析	樫野川本流および支流ならびに流域に生息する脊椎動物全種について、生息分布状況を把握し、動物群ごとに分布特性の解析を行い、樫野川流域における脊椎動物相を明らかにする。
	専門	山口県の小型哺乳類生息分布・生態調査研究	山口県において小型哺乳類である齧歯目および食虫目の調査はほとんど行われていない。生息分布状況を把握し、山口県における生息実態を明らかにする。
	専門	天然記念物の生息実態調査	山口県に生息するヤマネについて、生息分布状況を把握し、生息実態・社会構造を明らかにする。
	専門	山口県の両生・爬虫類の生息分布・生態調査研究	山口県において両生・爬虫類の生息分布状況を把握し、山口県における生息実態を明らかにする。
	専門	山口県における中型肉食肉目の社会構造・生態および競合関係の解明	中型食肉目であるタヌキ・アナグマ・キツネ・テンは同所的に生息し、競合関係にあると考えられる。繁殖時における巣穴利用、食性比較、生息地利用などの実態を解明し、競合関係の実態を明らかにする。
	専門	山口県の無脊椎動物の標本データ解析による生息環境の変遷と希少動物種保全に向けた調査研究	山口県の無脊椎動物の標本データをまとめ、生息実態より生息環境の変遷と希少動物種保全に向けた解析を行う。
	専門	山口県の動物に関する標本・文献・情報データの収集方法の確立とデータベース化	山口県の動物に関する標本・文献・情報データの収集方法を確立し、データベース化を図る。
荒巻	重点①	考古・歴史関係資料の効果的な展示方法について	先進的な博物館の視察等を通じて、直接手で触れたり聴覚に訴えたりする、今後の主流となりうる展示方法を研究する。
	専門	考古資料と文献資料の関連についての研究	当館には文献資料が主流となる歴史時代の考古資料も多く存在する。性格の異なる二つの資料を相互に関連付けて、その時代像がよりよく浮かび上がるような展示のあり方を模索し、研究する。
	専門	山口県内の遺跡に関する調査研究	山口県内には歴史的価値の高い遺跡が多いが、全国的な知名度が決して高いとは言えない。県内遺跡の情報収集や調査を行い、その価値を広く紹介する機会を作る。

山田	重点 ①	歴史分野における古文書の効果的展示方法に関する研究	古文書の展示について、AV機器等を駆使した展示装置や解説など効果的な展示方法について研究する。
	専門	萩藩絵図方に関する調査研究	萩藩絵図方の活動や作品に関する調査研究を行う（継続）。同時に郡方地理図師有馬喜惣太の事績について調査研究を進め、講座や展示に反映させる。
	専門	絵図を利用した教育普及事業に関する研究	江戸時代の絵図を利用した街道と史跡を歩いて巡見する講座の実践と効果的開催方法を研究する。
漁	専門	科学技術史における県内産業の位置づけとその動向	県内産業と科学技術史との関連について調査する。
	専門	理工収蔵資料体系の構築	全国的にも数少ない理工系博物館として、技術史全般を検討し、それに沿って収蔵資料を整理する。
	専門	デバイス材料の表面物性研究	表面物性科学の最先端研究や動向等を調査する。

イ 資料の収集・保管

（ア）収集

当館の資料基準にもとづいて、資料の収集を行う。

資料の収集は原資料を原則とするが、展示の必要に応じて複製・模型・模写・写真・フィルム等も収集する。

本県の歴史や自然に関し、学術的・文化的・教育的な価値の高い参考資料も本館設の目的に照らし、その確保に努める。

（イ）保存・管理

収集資料は、分類・整理のうえ、収蔵庫において保存・管理し、資料の保管と出納の円滑化を図る。また、定期的に資料の燻蒸消毒や全館燻蒸を実施して虫害・菌害を防止し、空調設備による温・湿度の調整を行って資料を保管に万全を期す。

ウ 資料展示

（ア）常設展

天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工の7部門について、次の常設展示を行う。

- ・天文・・・宇宙の構成や隕石、天文学史などの天文資料
- ・地学・・・県内を中心とした岩石・化石・鉱物などの地学関係資料
- ・植物・・・県内を中心とした植物標本など植物生態関係資料
- ・動物・・・県内を中心とした脊椎動物・昆虫・貝類標本などの動物資料
- ・考古・・・県内外の遺跡出土品を中心とした考古関係資料
- ・歴史・・・古代から近・現代にいたる山口県の歴史を明らかにする資料
- ・理工・・・2階はロボットコーナー・科学技術史資料・未来エネルギー模型など3階は山口線運転シミュレータ等の体験ができる展示物を中心とした理工関係資料

(イ) 特別展・テーマ展

県民の知的ニーズに応えるため、学芸員の調査研究に基づいた企画性の高い、内容のより充実した特別展及びテーマ展を開催する。

(ウ) サイエンスやまぐち 2021

青少年の科学に関する関心を深め、科学する心を育み、その研究心を振興するために「サイエンスやまぐち」を開催する。

エ 教育普及活動

生涯学習の必要性が高まり、その充実が図られている現在、博物館（学芸員と3名の長期研修教員（ミュージアムティーチャー））も児童・生徒のみならず広く県一般を対象として次の諸活動を行う。

- (ア) 解説案内 要望に応じて、可能な限り学芸員やミュージアムティーチャーが展示室の解説案内を行う。また、資料等に関する質問には積極的に対応する。
- (イ) 博物館教室 講習・採集・見学会など各種の学習会を企画開催するほか、各市町・公民館・団体等の要請にもとづき現地学習会を開催する。
- (ウ) 広報出版 館報・研究報告・山口県の自然などの出版活動をとおして、博物館活動を多方面にPRする。
- (エ) 県内類似機関との連携 県博物館協会ほか類似機関との連携を取り、交流を深めながら職員相互の資質向上を図る。
- (オ) 派遣講座 生涯学習充実の一翼を担うため、各市町・公民館・団体等の要請に応じて学芸員を派遣し、部門ごとに専門的な講座を実施する。
- (カ) 博学地域連携 学校等への出前授業や資料貸出、教員研修などに積極的に取り組み、学校・地域との連携を推進する。

6 サポーター制度

サポーター制度により次の諸活動を行う。

- (ア) 展示解説 来館者に対する展示資料の解説や案内・支援を行う。
- (イ) 教育普及 講座の準備、指導補助や安全確保を行う。
- (ウ) 調査研究 標本作製、データ入力、野外での採集などを行う。
- (エ) 資料整理 標本や資料の整理、ラベル作成、データ入力等を行う。
- (オ) サポーター講座 サポーター活動を理解するための講座を開催する。受講によりサポーター活動ができる。

7 施設・設備等の整備促進

博物館活動を充実するため、施設・設備等について計画的に整備を進める。

8 令和3年度事業概要

事業名	目的	内 容
博物館運営費	博物館の運営、財産管理、学芸員の調査研究、次年度に開催する特別展の準備を行う。	1 博物館運営協議会の開催、博物館モニターの設置 2 博物館の管理運営、博物館施設整備 3 博物館の機械設備保守点検等委託 4 学芸員の資料調査、研究活動 5 特別展の出品資料調査
博物館整備事業費	博物館活動を充実するため、資料の整備、資料の購入、展示室の維持整備を図る。	1 資料展示保守点検等 2 展示資料 他
博物館学校地域連携教育支援事業	児童生徒や学校現場等に必要とされる資料と人材を提供することにより、学校の教育活動や地域団体の学習活動を支援する。また、一般県民や青少年を対象に各種講座を開始し、県民への学習活動を支援する。	1 学校や地域団体への教育支援 ・来館利用（社会見学、館内授業、職場体験）の受入と出前授業の実施 ・教材開発、学習プログラムの開発、貸出教材の充実等 ・ホームページ、博物館だより等を活用した広報活動 ・教員研修の充実 2 教育普及活動 ・学習ニーズの多様化、高度化に対応した講座（歴史教室、地質めぐり等）の開催 ・青少年の体験学習や学校教育と連携した講座（動物観察会、植物教室等）の開催

9 令和3年度事業計画〈部門別〉

（令和3年(2021年)3月時点）

部門等	行事名・講座名	実施日
特別展	「江戸時代の旅と街道」	8月6日（金） ～9月23日（祝・木）
サイエンスやまぐち	サイエンスやまぐち 2021 第75回山口県科学研究発表会審査会	10月19日（火）
	サイエンスやまぐち 2021 第75回山口県科学作品展・開会式	10月29日（金）～11月14日（日）
テーマ展	「宝山の一角」山大コレクション in 山博	4月28日（水）～6月20日（日）
テーマ展	テーマ展「動物サポーターの7年」	12月10日（金）～4月10日（日）
普及講座	【天文】 皆既月食を見る会	5月26日（水）
	はじめての望遠鏡	6月19日（土）
	夏の星空を見る会	7月31日（土）
	木星と土星を見る会	10月2日（土）・3日（日）
	部分月食を見る会	11月19日（金）

普及講座	【地学】	地学教室①「地質観察」	5月16日（日）
		地学教室②「スライスした岩石を観察しよう」	10月17日（日）
		地学教室③「鉱物テラリウムをつくろう」	3月6日（日）
	【植物】	植物教室①「植物（押し葉・さく葉）標本を作ろう！」	6月26日（土）
		植物教室②「葉脈標本のしおりやミニ図鑑を作ろう！」	8月29日（日）
		植物教室③「落ち葉や押し花で飾りをつくろう！」	11月27日（土）
	【動物】	初夏の昆虫観察	5月30日（日）
		夏の昆虫観察と標本作り	7月24日（土）・25日（日）
		秋の昆虫観察会	9月26日（日）
		里山の動物観察会	3月20日（日）
	【考古】	埴輪をつくろう！	5月8日（土）
		勾玉をつくろう！	8月9日（月）
		古代ウォーク	11月3日（祝・水）
		古代の機織りでコースターをつくろう！	12月4日（土）
	【歴史】	歴史講座	8月8日（日）
		親子で楽しむ・絵図を片手に街を歩こう！ ー山口明倫館編ー	9月18日（土）
		掛け軸の取り扱い方	10月30日（土）
	【理工】	ロボットプログラミング教室（初級）	6月13日（日）
		科学工作講座	8月4日（水）・5日（木）
		雪の結晶をつくろう！	12月12日（日）
		ロボットプログラミング教室（中級）	2月20日（日）
博学地域連携	博物館学校地域連携推進会議		6月
	自由研究の進め方教室		7月10日（土）・11日（日）
	教員のための博物館の日（博物館1日体験教室）		8月18日（水）・19日（木） ・20日（金）
大学連携	博物館実習		8月2日（月）～6日（金）
	インターンシップ		8月2日（月）～6日（金）
博物館協議会	第1回山口博物館協議会		9月～10月
	第2回山口博物館協議会		2月～3月
博物館協会	山口県博物館協会理事会・総会		5月14日（金）
	日本博物館協会中国支部役員会・総会（岡山県）		5月24日（月）・25日（火）
	日本博物館協会中国支部研修会（広島県）		11月
	山口県博物館協会研修会		11月～12月
	山口県博物館協会理事会		2月～3月
施設管理	全館消毒		6月21日（月）
	全館停電（休館）		10月16日（土）

※注意 令和3年度事業計画（次ページ以降も含む）は令和3年3月時点のものを掲載している。

令和3年度特別展

江戸時代の旅と街道 開催要項（案）

1 趣 旨

江戸時代の周防・長門国（今の山口県）では、山陽道（西国街道）、萩往還、赤間関街道、石州街道、山代街道など複数の街道により領国全域を覆う道路網が整備され、多くの人々や様々な物資が行き交いました。

本展は、これら江戸時代のさまざまな旅の姿や、交通の基盤としての街道を、美しい絵図と豊富な歴史資料で紹介します。展示解説では、映像や二次元バーコードを利用し、多彩な情報を提供します。

さらに、「絵図を片手に街を歩こう」をはじめとした街歩きイベントを通して、展示室の内と外と連携させ、まちなか博物館空間を構成します。ウィズコロナの時代に対応した新しいスタイルの展覧会をお楽しみください。

2 主 催

山口県、山口県教育委員会、「江戸時代の旅と街道」実行委員会（山口県立山口博物館、公益財団法人山口県ひとづくり財団、地方独立行政法人山口県産業技術センター、KRY山口放送、山口新聞社）

3 協 力

山口県文書館、山口県立山口図書館、山口ゆめ回廊博覧会実行委員会、一般社団法人山口県観光連盟、山口ケーブルビジョン株式会社、赤間関街道中道筋連絡協議会、岩国往来まちづくり協議会、やまぐち萩往還語り部の会、吉敷地区地域づくり協議会、やまぐち歴食研究会

4 後 援

NHK山口放送局、株式会社エフエム山口、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、宇部日報社、おいでませ山口観光ボランティアガイド連絡協議会、一般社団法人萩市観光協会、一般社団法人防府観光コンベンション協会、一般財団法人山口観光コンベンション協会、湯田温泉旅館協同組合、山口県地方史学会、山口県文化財愛護協会

5 会 期

令和3年8月6日(金)～9月23日(木)

月曜・火曜休館（8月9日・10日、9月20日・21日は開館）。9月8日～10日は展示替えのため休館。

6 観 覧 料

一般1,000円 学生・シニア650円

19歳未満の方及び高等学校、中等教育学校、総合支援学校（特別支援学校）等に在学する生徒は無料。シニアは70歳以上。

7 展示構成

プロローグ 江戸時代・旅と街道のきほん

第1章 さまざまな旅の姿

1 萩藩の参勤交代

- 2 萩藩主の御国廻り
- 3 殿様たちの湯治旅行
- 4 庶民の旅ーお伊勢参り・名所見物ー
- 5 吉田松陰最後の旅ー江戸送りー
- 第2章 絵図と古文書で見る防長の街道
 - 1 絵図に描かれた街道ー萩往還・山陽道・赤間関街道・山代街道・石州街道・岩国往来・肥中街道ー
 - 2 街道の要衝
 - 3 街道の残影ーストリートアルバムー
- 第3章 絵図を作った人々ー萩藩絵図方と郡方地理図師有馬喜惣太ー
- エピローグ さあ、歴史の道へ飛び出そう！ー歴史の道の整備と活用ー

8 出品点数

約100点（予定）（国指定重要文化財1点、県・市指定文化財4点を含む）

9 出品機関等

山口県文書館、毛利博物館、萩博物館、本郷歴史民俗資料館、宇部市学びの森くすのき、周南市美術博物館、下関市烏山民俗資料館、下関市立美術館、下関市立歴史博物館、豊栄神社、古熊神社、防府天満宮、八幡人丸神社、花岡八幡宮、やまぐち歴食研究会

10 特別展開催記念出版物

「絵図で見る防長の街道」 A4横、96頁

編集：山口県立山口博物館

頒価：2,300円

販売部数：300部

11 講座・イベント

【講座】

※講座室での講演のほか、ライブ中継、ネット配信（後日、展覧会会期中）を行います。

※講座室での受講は、特別展のチケット（半券、招待券）が必要です。

■ 8月7日(土) 13:30～15:00

特別展講座①

「特別展江戸時代の旅と街道スペシャルガイド」

講師：山口県立山口博物館 学芸専門監 山田 稔

会場・定員：山口県立山口博物館講座室 12名（当日受付、先着順）

■ 8月8日(日) 13:30～15:00

特別展講座②（博物館教育普及講座共催）

「江戸時代の街道絵図「行程記」と「御国廻御行程記」」

講師：山口県立山口博物館学芸専門監 山田 稔

会場・定員：山口県立山口博物館講座室 12名（当日受付、先着順）

■ 8月21日(土) 13:30～15:00

特別展講座③

「幕末維の動乱と街道」

講師：山口大学経済学部大学院担当教授 木部 和昭

会場・定員：山口県立山口博物館講座室 12名（当日受付、先着順）

■ 8月22日(日) 13:30～15:00

特別展講座④

「萩藩の参勤交代について」

講師：山口県文書館 副館長 山崎 一郎

会場・定員：山口県立山口博物館講座室 12名（当日受付、先着順）

■ 8月28日(土) 10:30～12:00

特別展講座⑤

「萩藩の天才地理図師 有馬喜惣太」

講師：山口県立山口博物館 学芸専門監 山田 稔

会場・定員：山口県立山口博物館講座室 12名（当日受付、先着順）

【オンライン・ギャラリートーク】

ネット配信により、展覧会の見どころを担当学芸員が分かりやすく紹介します。
(全5話。8月13日より毎週金曜日更新)

【街歩きイベント】

※いずれも雨天中止。

■ 9月4日(土) 10:00～12:00

絵図を片手に街を歩こう！① ー山口御屋形編ー

講師：山口県文書館 専門研究員 山本 明史

会場：山口県庁周辺

定員：一般10名（要申込）

参加料：500円（資料代・保険料含む）

■ 9月5日(日) 10:00～12:00

絵図を片手に街を歩こう！② ー学都山口と山口明倫館編ー

講師：毛利愛好会代表 石川 和朋

会場：山口市パークロード周辺

定員：一般10名（要申込）

参加料：500円（資料代・保険料含む）

■ 9月11日(土) 10:00～12:00

絵図を片手に街を歩こう！③ ー風水のまち山口と萩往還編ー

講師：やまぐち萩往還語り部の会 会長 松井 邦昭

会場：山口市堅小路周辺

定員：一般10名（要申込）

参加料：500円（資料代・保険料含む）

■ 9月12日(日) 10:00～12:00

絵図を片手に街を歩こう！④ ー肥中街道・山口編ー

講師：山口県立山口博物館 学芸専門監 山田 稔

会場：山口市吉敷地区

定員：各回一般10名（要申込）

参加料：500円（資料代・保険料含む）

■ 9月18日(土) 10:00～12:00

親子で楽しむ・絵図を片手に街を歩こう！ー山口明倫館編ー

講師：山口県立山口博物館 学芸専門監 山田 稔

会場：山口市パークロード周辺

定員：4組最大16名（要申込） ＊こどもは小学校3年以上

参加料：無料（博物館教育普及講座共催）

12 備 考

文化庁「博物館等を中核とした文化クラスター事業」関連

山口県総合芸術文化祭2021協賛

山口県観光連盟「古地図を片手に、まちを歩こう！」協賛

山口ゆめ回廊博覧会事務局「ゆめ散歩プレミアム」協賛

山口県立山口図書館資料展示「江戸時代の旅と街道」協賛

萩博物館企画展「旅と人と萩と」（秋季開催）連携

毛利元就没後450年・毛利敬親没後150年記念協賛

サイエンスやまぐち 2021 開催要項（案）

1 趣 旨

児童・生徒たちの常日頃の研究成果を、作品の展示や研究発表会を通して広く県民の方々に見ていただく場を提供し、その成果を顕彰することにより、青少年はもとより県民の自然や科学への関心を深め、科学活動が活発となることを目指すものです。

2 主 催 山口県、山口県教育委員会

3 共 催 一般社団法人山口県発明協会

山口県小学校教育研究会理科部

山口県中学校教育研究会理科部

山口県高等学校教育研究会理化部会

山口県高等学校教育研究会生物部会

4 内 容

児童・生徒の研究成果を顕彰する取り組みとして、科学作品展と科学研究発表会を実施する。両取り組みの総合開会式・表彰式を開催する。

(1) 第75回山口県科学作品展

・自然の部 県内の児童生徒が、自然を相手にして取り組んだ観察・実験の研究物の優秀作品 約165点

・創造の部 県内の児童生徒が、今年度創意工夫した生活用具や遊び用具などの優秀作品 約55点

会 期 令和3年10月29日(金)～11月14日(日)

※開場時間 9:00～16:30 入場は16:00まで

※11/1(月)、11/8(月)は休館日、15日間開催

※10/29(金)は、総合開会式終了後に開場(10:30頃)

会 場 山口県立山口博物館(山口市春日町8-2)

観覧料 常設展入館料に含む

一般150円(団体120円) 学生100円(団体80円)

19歳未満及び70歳以上、高等学校・中等教育学校・特別支援学校等に在籍する生徒は無料。団体は20名以上

(教育・文化週間期間中の11月1日(月)～7日(日)は、すべての入館者が無料です。)

(2) 第75回山口県科学研究発表会

県内の児童・生徒の科学に関する研究発表作品を、資料・DVDの形で募集し、審査する。優秀作品は科学作品展の会場で公開する。

審 査 令和3年10月19日(火)

会 場 山口県立山口博物館(山口市春日町8-2)

(3) 総合開会式・表彰式

日 時 令和3年10月29日(金) 10:00～10:30

会 場 山口県立山口博物館(山口市春日町8-2)

宝山の一角

やまだい 山大コレクション in やまはく 山博—山口大学学術資産継承事業成果展— 開催要項（案）

山口大学学術資産継承事業委員会と県立山口博物館とが連携・協力して山口大学が所蔵する様々な分野の貴重な学術資料のうち修復・保存・デジタル化処理等を終えたものを広く県民に紹介します。また会場となる県立山口博物館では常設展において、本展に関連する資料等を展示しています。

- 1 展覧会名 宝山の一角 やまだい 山大コレクション in やまはく 山博—山口大学学術資産継承事業成果展—
- 2 主催 山口大学学術資産継承事業委員会、山口県立山口博物館
- 3 会期 令和3年4月28日(水)～6月20日(日)
開館時間 9:00～16:30（入館は16:00まで）
- 4 会場 山口県立山口博物館
- 5 観覧料 常設展観覧料（一般150円、学生100円）
＊70歳以上、19歳未満の方及び高等学校・中等教育学校・総合支援学校（特別支援学校）等に在学する生徒は無料。
- 6 後援 大学博物館等協議会、山口県博物館協会、山口県文書館、山口放送
山口朝日放送、テレビ山口、山口新聞社、朝日新聞、読売新聞
- 7 主な展示内容 共通テーマ「やまぐち」
 - (1) 山口大学学術資産継承事業委員会展示資料（3F会場）
 - ・考古 弘津史文関連資料、官立山口高校歴史教室収集資料など
 - ・商品 山口県の陶磁器、深川焼 山口（万代）焼 星里焼 西浦焼など
 - ・鉱物・岩石 山口県を構成する主な地質系統を代表する岩石標本や、山口県産出の主な鉱石など
 - ・生物標本 山口県に生息する哺乳類の全身骨格標本など
 - ・文書 庶民史料にみる榎野川改修関連文書（林家文書、本間家文書）など
 - (2) 山口県立山口博物館展示資料（常設展の関連展示）
 - ・山口県出土の考古資料、山口県生息の哺乳類の剥製標本、山口県産出の化石など

令和3年度テーマ展 「動物サポーターの7年」 開催要項（案）

1 趣 旨

山口博物館サポーター制度が始まり7年たちました。動物サポーターは、毎週木曜日に定期的に活動しています。毎月2回の山口市鴻ノ峰での昆虫を中心とする生物調査・昆虫標本作製、哺乳類・鳥類の仮剥製・骨格標本の作製、貝類標本などの展示標本の作製、動物標本のデータ登録など12万点を超える動物のデータを整理し、展示用標本の作製をしています。本展では、サポーター活動で採集し作製し標本、展示用に製作した標本類、教材として製作した標本、活動報告であるサボちゃん通信など活動の成果を展示解説します。

2 主 催 山口県立山口博物館

3 会 期 令和3年12月10日(金)～令和4年4月11日(日)

4 会 場 山口県立山口博物館 3階特別展示室

5 観覧料 常設展観覧料（一般150円、学生100円）

なお、18歳以下と70歳以上、高等学校・中等教育学校・総合支援学校（特別支援学校）の生徒は無料

6 展示内容

① 山口市鴻ノ峰の生物調査

山口市の市街地近郊に隣接する鴻ノ峰は、林道・登山道が整備され、ハイキングに多くの人を訪れ、河川公園もあり憩いの場として親しまれています。毎年初夏と秋の昆虫観察会を動物サポーターの方が講師となり実施しています。毎月2回の定期調査で7年間に採集した昆虫類は1000種、8000個体を超えました。採集したサポーターの視点から昆虫類の特性を標本とともに展示解説します。あわせて鴻ノ峰の植物・鳥類相の季節変化についても解説します。

② 山口県の哺乳類・鳥類の仮剥製・骨格標本

交通事故死により持ち込まれたタヌキ・キツネ・ニホンアナグマ・テン・イタチ、有害捕獲により譲り受けたアライグマやヌートリア、トラップなどで採集したネズミ類・モグラ類、衝突事故などで亡くなった鳥類などを解剖し、仮剥製や骨格標本作製をサポーター活動として行ってきました。作製した標本をもとに、それぞれの哺乳類・鳥類の特徴を展示解説します。

③ 山口博物館に収蔵されている動物たち

山口博物館には約12万点の動物の標本が収蔵されています。それら標本を分類群ごとに目名・科名・学名・種名・採集年月日・採集場所・採集者の情報をサポーターの方々が整理・登録しています。整理された標本は2019年よりサイエンスミュージアムネット（S-net）を通して、順次公開を始めました。これらの収蔵標本データは地球規模生物多様性情報機構（GBIF）により世界で閲覧できるようになっています。常設展示ではみることができない博物館が収蔵している貴重な標本類を展示解説します。

常設展示 入館案内

開 館 時 間 9 時～16 時 30 分
(入館は16時まで)

閉 館 日 ① 月曜日 (当日が祝日の場合は火曜日)
② 年末年始 (12月28日～1月4日)
③ 全館停電日
④ 全館消毒日

常設展示観覧料

区 分	個人	団体 (20人以上)
一 般	150円	120円
学 生	100円	80円
無 料	(1) 生活保護を受けている者 (2) 身体障害者 (身体障害者手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (3) 戦傷病者 (戦傷病者手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (4) 高齢者 (70歳以上の者) (5) 知的障害児者 (療育手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (6) 精神障害児者 (精神障害者保険福祉手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (7) 小・中・高の児童生徒の団体観覧の引率教員 (8) 教育・文化週間 (11月1日～7日) 期間中の全入館者 (9) 19歳未満の者及び高等学校、中等教育学校、総合支援学校 (特別支援学校) 等に在学する生徒	

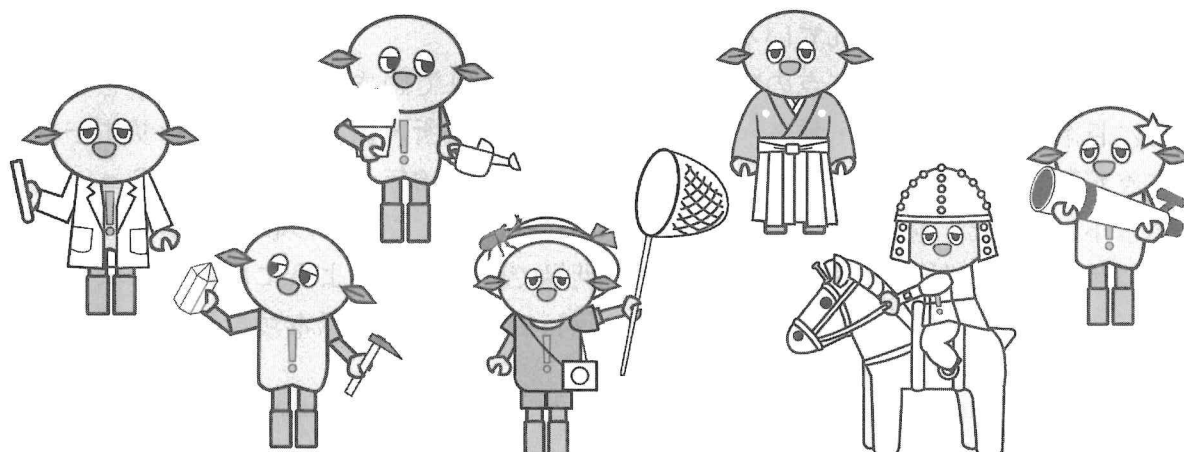
(特別展の場合は観覧料が変わります)

常 設 展 示 内 容 天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工
場 所 〒753-0073 山口市春日町8番2号
(バス利用) 県庁前下車徒歩4分

T E L (083) 922-0294

F A X (083) 922-0353

U R L <https://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



発 行 令和4年3月

発行者 山口県立山口博物館
山口市春日町8の2

☎ 083-922-0294

FAX 083-922-0353

印刷所 備いづみプリンティング